

23～24 年度 第 1 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 3 年 7 月 2 0 日 (水)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 (委 員) ○今井・○花田・○寺本		
1. あいさつ 上原会長、芝副会長より			
2. 自己紹介			
3. 副委員長の互選 委員の互選により寺本さんを副委員長とした。			
4. 各種報告 「建築士定期講習」の実施日：12/12（受付予定：8 月～10 月） 「景観・まちづくり特別委員会」委員会規程について確認した。 その他 各種講習案内等を配布。			
5. 議 題 (1) みらいふれあいフェスティバル 2011 について ・ブース出展内容は、東日本大震災関係パネルの展示を行うこととし、パネル作成作業を行った。 展示方法については、考えることとした。 ・9/9 9:00 現地集合。			
(2) 今年度事業について（予算等の説明） <方針> 景観整備機構を目指す。 ・役に立つ組織づくり。 ・勉強会、研修会、セミナー等の実施（横浜支部と一緒に実施したい） 大阪会、埼玉会、東京会等と合同で実施したい。 ・国土交通省の出前セミナーの活用 復興支援（震災に関して何が出来るのか？） ・現地調査の実施：宮城県 → 予算をつけられるか、理事会等へ要望する。 ・県や市の対応状況の把握 ・サポート出来ることを探したい。			
<予算案> ・講習会 1 回、研修会 1 回、見学会 1 回 の予算を組んでいるので、内容を次回決定するので、提案を募集する。 内容については、プロ向けとする。 ・景観と交流、維持管理、省エネを取り入れたまちづくり等について、次回までに提案を提出する。			
(3) 開催方法について ・原則 第 3 水曜日 15:00～17:00 8/22、9/22、10/18、11/15、12/13			
(4) その他 平成 2 3 年度「住まい・まちづくり担い手事業」実施に伴う協力依頼について → 平山委員長を推薦した旨を報告。サポーターについては、様子が分からないので見送ることとした。			

新聞記事（復興に向けたアイデア）

- ・調査、情報収集をし、サポート出来れば。
- ・地元の建築士のサポート（提案）

委員会の活動内容の周知

- ・フェイスブック、ミクシー等の活用。
- ・ホームページへの掲載
 - 広報情報委員会へ打診する。

委員の増員について

- ・3名を募集することとした。
募集方法は公募とし、案内を芝副会長が作成する。選考は、委員会で行う。

次回 平成23年 8月22日（月）15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第2回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成23年 8月22日(月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田		
1. あいさつ 芝副会長より 委員の増員については、今後の活動内容を見て決定する。			
2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・各種研修会案内等を配布。			
3. 議 題			
(1) みらいふれあいフェスティバル2011について			
当日の担当割について			
原則、委員全員の出席とした。			
9/9 8:30 集合			
9/10 9:50 集合(平山委員長欠席)			
展示方法について			
・チェーンを使用する。			
・ビニールひもを用意する。			
(2) 講習会、研修会、見学会の実施内容について			
・年内(12/10)に研修会を含めた見学会を実施する。場所は、埼玉県とする。 この企画の作成を、今井委員が担当する。			
(3) 今後の進め方について(アイデア募集)			
景観整備機構を目指す。(6項目)			
・役に立つ組織づくり。			
→ 情報収集を行う。各自治体の条例の整備等について、内容把握(実態調査)を行う。 各行政へアプローチするための案内(この委員会の活動内容、(社)日事連の資料抜粋)のタタキ台(A4 1枚)を寺本副委員長が担当で作成する。			
・勉強会、研修会、セミナー等の実施			
→ 景観法の勉強会の開催。			
・国土交通省の出前セミナーの活用			
→ 花田委員が担当する。			
・景観、地域資源のための行政へのアプローチ方法を探る。			
・県下で何が出来るか? まちの魅力探し等の掘り起こしから始める。 最終的には市民と一緒に、プロとしてどう係わるのか、コミュニケーションをとれるか。			
< 情報提供 >			
・横浜市のまちづくりコーディネーター制度 6回で18万円。年間派遣もある。			

- ・神奈川県内市町村は、景観行政団体となっている。

復興支援（震災に関して何が出来るのか？）

- ・現地調査の実施：宮城県（予算の問題あり）

→ 9/9 に宮城会の方へ話をしてみることにした。

また、どの程度の交通費（電車の場合、車の場合の高速料金、ガソリン代）が必要なのかを調べ、平山委員長が案を作成し、芝副会長へ提案する。（20,000 円/人程度かかると思われる。）

→ 災害ボランティアに登録する方法等を調べる。（高速料金の無料化等含む）

- ・津波で流された石巻市の缶詰工場から缶詰を買い（300 円/個）販売してはどうか？（今井委員より）

→ 9/9 のみらいふれあいフェスティバル 2011 懇親会場にて販売しては？との提案があり、実行委員会へ諮り決定することとした。

- ・県や市の対応状況の把握

→ 復興計画等、行政の話。

→ 横浜市の職員が仮設担当者として、仙台市へ行っているので話が聞けるかも？

- ・サポート出来ることを探したい。

→ 委員全員でそれぞれ情報収集を行うことにした。

（４）その他

大谷採掘場の地下 40 m の豎坑見学について（花田委員より紹介があった。）

データの共有が出来る寺本副委員長のネット上のフォルダを利用させて頂く。

フェイスブックのファンページを利用しては？アンケートも取れる。チャットでのやり取りも出来る。

→ 今後検討する。

< 宿題 >

- ・復興計画の情報を収集する。

次回 平成 23 年 9 月 22 日（木）15:00～ 神事協会議室にて

23～24 年度 第 3 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 3 年 9 月 2 2 日 (木)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田		
1. あいさつ 芝副会長より 2. 各種報告 前回議事録の確認 一部修正あり。次回より委員全員へ確認のため送付する。 その他 3. 議 題 (1) 「みらいふれあいフェスティバル 2011」の反省 缶詰販売についての報告 192 個 (64 セット) 支出 57,600 円 (木の屋石巻水産) 収入 64,000 円 利益 6,400 円 振込み手数料等も支出に入れる。 報告書の作成 (寺本副委員長が担当) 反省等 ・宮城会の方と話ができて良かった。 ・缶詰の販売が成功して良かった。 ・映画は良かった。 ・展示については、改善の余地あり。来年も委員会の成果としてパネル化したい。 ・パネルの内容を記載すべきであった。 ・毎年の開催は、無理があるのでは？ ・会場のロケーションは良いが、集客できない。 ・委員会に負担にならないよう、次年度以降は行なうべき。(実行委員会の設置等) (2) 講習会、研修会、見学会の実施内容について ・埼玉会が景観整備機構になっているため、埼玉会の協力を得て行ないたい。 (3) 今後の進め方について (アイデア募集) 景観整備機構を目指す。 (景観法第 5 章景観整備機構第 9 2 条から第 9 6 条。指定に関する条文は第 9 2 条) ・各自治体の条例の整備等についての内容把握 → 各行政のホームページをチェックする。 プレゼンテーションの資料を作成する。まずは、そのための資料収集を行なう。 ・景観法の勉強会の開催について → 委員会のメンバーで勉強会を実施。(予定日：10/18 or 11/2 の午後) 埼玉会の浅野さんへ委員長が連絡を取り、打診する。 ・国土交通省の出前セミナーについて → 出前セミナーの実施はしていない。資料提供をホームページで行なっている。 「魅力的な景観まちづくりのために」(都市・地域整備局景観室作成)			

復興支援（震災に関して何が出来るのか？）

- ・災害派遣等従事車両証明書の取得 岩手、宮城 12/10 まで、福島 3/10 まで

（参考交通費）

< 高速道路料金 > みなとみらい → 仙台宮城 普通車 片道 8,500 円
< 電車 > 横浜 → 仙台 片道 10,910 円

- ・復興計画の情報を収集
- ・東北大学と宮城会のジョイントで復興のまちづくりを実施？
9/26 に芝副会長が宮城会へ表敬訪問する予定なので、情報収集をお願いした。
- ・接点を持って情報を収集しないと始まらない。
- ・職能を活かす議論や支援方法を探る。
プロフィールの作成。（職能の強みを見定め、何ができるか？委員会としては何ができるのか？）
- ・景観整備機構と復興支援については、直接結びつかない。結びついたらなお良いが・・・。
- ・宮城県の情報を個人、組織を問わず集め、オフィシャルに動ける状態にしていく。
- ・宮城の観光地のまちづくりも面白い。
- ・避難路マップ等の作成を平山委員長が関わっているまちづくりのワークショップで行なっている。

（４）その他

フェイスブックのファンページ利用について → 次回検討。

次回 平成 23 年 10 月 18 日（火）15:00～ 神事協会議室にて

23～24 年度 第 4 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 23 年 10 月 18 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田		
1. あいさつ			
2. 各種報告 前回議事録の確認			
9/26 宮城会 (松田専務) への表敬訪問について (芝副会長より)			
・北海道東北ブロック協議会宛に新たな支援についての文章を要請により上原会長が起草 (筋道をつけるために)			
・建築士事務所協会と建築士会と一緒にやろうとしているが混乱中の様子 こちらが手助けできる事を模索してくれているところ			
・木造耐震関係への協力の話があった。(数が多すぎてこなせない?) → 会としての支援であれば良い。木造特別委員会との共同で活動していく?			
・仮設ではない住宅等の提案支援			
その他 各種講習会案内等を配布。			
3. 議 題			
(1) 埼玉会への来訪準備			
景観整備機構を作るまでの留意点			
景観整備機構を作る際の留意点			
景観整備機構を作った後の活動について			
・手土産を持っていくこととした。(担当: 平山委員長)			
・出席予定者: 芝副会長、平山委員長、寺本副委員長、今井委員、花田委員 横浜支部より小渡氏、石野氏、廿日出氏			
(2) 次年度事業について			
< 収入の部 >			
研修会 2 回 200,000 円(2,000 円 × 50 名 × 2 回) 1 年、A			
< 支出の部 >			
・景観整備機構準備 2, 3 年程度、A			
情報収集 30,000 円			
組織立ち上げ検討 20,000 円			
事例調査・検討 100,000 円			
研修会 100,000 円 (50,000 × 2 回)			
支部との連携 50,000 円			
・復興支援 (被災地の方との組織のつながり) 永年、A			
宮城会との情報交換会の実施 (ネットワーク構築) 200,000 円 (5 人 × 20,000 円(交通費) × 2 回)			
協会会員(宮城の方を知っている人の発掘)との情報交換会の実施 30,000 円			
(3) 講習会、研修会、見学会の実施内容について			

- ・ 景観法の勉強会の開催について
年度末までに実施する。目標は、2月中旬とした。(担当：寺本副委員長、今井委員、花田委員)

(4) 今後の進め方について

景観整備機構を目指す。

- ・ 景観法第92条(景観整備機構)についての内容を確認した。(特に機構の業務内容について)

○ 各自治体の条例の整備等についての内容把握(情報収集)

神奈川県：神奈川県景観条例・横浜市：「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例(景観条例)」
川崎市：川崎市都市景観条例・横須賀市：横須賀市景観条例・平塚市：平塚市景観計画・景観条例
鎌倉市：鎌倉市都市景観条例・藤沢市：藤沢市都市景観条例・小田原市：小田原市景観計画及び景観条例・茅ヶ崎市：茅ヶ崎市景観条例・逗子市：逗子市景観条例・相模原市：景観計画、景観条例
厚木市：厚木市景観計画・厚木市景観条例・大和市：大和市景観計画と景観条例・海老名市：景観法・海老名市景観条例・座間市：座間市景観条例・大磯町：大磯町景観条例・箱根町：箱根町景観条例・景観計画・真鶴町：真鶴町景観計画策定・湯河原町：景観計画及び景観条例(19団体)

不明：三浦市、秦野市、伊勢原市、葉山町、寒川町、二宮町、愛川町、開成町、松田町、山北町、清川村(11団体)

策定予定：南足柄市、綾瀬市(2団体)

- ・ 次回に上記の内、横浜市、鎌倉市、座間市の景観条例について勉強する。

○ 神奈川県内の景観行政団体(25団体)

横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、真鶴町、平塚市、小田原市、大磯町、秦野市、鎌倉市、葉山町、湯河原町、逗子市、藤沢市、茅ヶ崎市、座間市、箱根町、大和市、三浦市、海老名市、厚木市、伊勢原市、綾瀬市、南足柄市、神奈川県

- ・ 小田原市は、景観整備機構を指定しない。

○ リーフレットの原稿(案)について(寺本副委員長よりイメージの提出があった。)

- ・ A4 両面印刷で作成する。
- ・ 委員会のロゴのデザインは、寺本副委員長に一任した。
- ・ リーフレットの中には、委員会メンバーの名前は入れない。
- ・ 事務所協会の内容紹介文を入れる。
- ・ インパクトのある表紙写真を入れる。
- ・ 裏面は、活動写真を入れる。
- ・ 活動テーマの内容については、MLを利用し提案を出し合う。

<現時点の案>

震災復興支援

景観整備機構指定団体への準備

神奈川県内の各種まちづくりへの取り組みに対する助言、支援活動

まちづくりに関する各種調査、情報収集

各地域の行政団体、市民団体等との連携

- ・ 下の部分については、イメージ写真とキーワードを入れる。

○ まちなみ事例ケースの紹介(インターネットより)

- ・ 川越 小江戸
- ・ 歴史的建造物保全と観光をむすびつけて地域経済活性化

復興支援（復興計画の情報を収集）

- ・まちの人（自治会）と仲良くなって、将来のための活動協力をしていきたい。
- ・宮城会の方へこちらの率直な思いを伝えたいので、宮城会の松田さんと会う機会を年内に設ける。
- ・木耐震への手伝いでも良い。小さなことから積み重ねが大事。
- ・求められているものはなにかがわからない？また、なにがこちらからできるのかがわからない？
- ・復興支援に関する新聞記事を紹介した。
津波被災者の声（教訓集）をネット上にて公開予定。6 県 60 市町村にて調査を実施する。
- ・工学院教授による「仮設でない永住の家建設プロジェクト」勉強会の紹介

（５）その他

フェイスブックのファンページを利用について → 次回検討

その他

- ・観光旅行会社とのコラボ企画が出来ないか？
観光地を入れた、被災地見学ツアー（奥の細道建築ツアー？）
- ・景観ハンティング～＋αの実施（地域の人との交流につながるとなが良い）

次回 平成 23 年 11 月 24 日（木）9:30～11:30 神事協会議室にて

23～24年度 第5回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成23年11月24日(木)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委員) ○今井・×花田		
1. あいさつ 芝副会長より コミュニティーアーキテクトの活動が活発化している。 2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・12/1「木の上手な使い方、適材適所の木材選び」研修会案内を配布、参加をお願いした。 ・12/2 臨時総会への出欠の返信を必ずするようにお願いした。 ・12/2 埼玉会来訪に係る報告書の作成(担当:寺本副委員長) 3. 議題 (1) 次年度事業について ・修正点を報告し、確認した。また、下段については修正を行うこととした。 ・ 東日本大震災被災地調査 被災県(3県)との情報交換会の実施 へ修正する。 ・当委員会の活動紹介、景観整備機構を目指す理由を次回の委員長会にて資料を提出し、説明する。 (2) 神奈川県からの委託事業(予定)について(芝副会長、平山委員長より説明) ・予定の予算は、50万円である。 ・担当課:県国土整備局建築住宅部住宅計画課住宅企画G 杉田氏 ・県に目的を委員全員で再度確認しに行く。また、県が持っている資料は提出して頂く。 候補日:第一候補 12/2(金) 9:00～11:00 第二候補 12/6(火) 9:00～11:00 第三候補 12/9(金) 13:00～14:30 以上のいずれかで打合せを行いたいので、県へ打診する。 ・実施に際しては、当委員会が頭に立つ。 ・実施するためには、プロジェクトチームが必要。(椋副会長が考えているようだ。) <必要事項> ・3県の窓口については、紹介して頂きたい。 ・調査協力依頼書を県に作成して頂きたい。各单位会へも同様に作成する。 ・実際に供給した側との話をする。 ・調査出来る範囲で行う。 ・仮設住宅へは、許可なしでは入れない。県等の許可が必要。 <神奈川県での取組み(概要)> ・県独自の取組み。 ・土地(畑等が多い。また、県有施設の公園)については、地権者と覚書を交わしている ・建物の供給体制は、プレ協と覚書を交わしているようだ。 ・仮設住宅の建物供給は、県の仕事である。ただし、政令市は不明。 (3) 景観整備機構になるための準備 ・走りながら内容を整えていきたい。 ・神事協全体での実績を調べる。 当会で考えている実績の内容と発注者が考えている実績の内容を知る必要がある。			

- ・支部が地元の行政と繋がりを持っていくための活動としたい。
- ・協会内のコンセンサスをとる必要がある。
- ・他団体のパワーを取り込む。

○各自治体の条例の整備等についての内容把握（情報収集）

横浜市：平山委員長、川崎市：今井委員、鎌倉市：寺本副委員長、座間市：花田委員
以上、担当者が内容を収集し、次回検討を行う。

○チラシ案について

（４）講習会、研修会、見学会の実施内容について

- ・平山委員長を講師とした内容とする。また、埼玉会の浅野氏も講師としてお願いした。
日時：平成２４年 ２月２１日（火） 13:00～17:00（準備・片づけ含む）
会場：横浜市開港記念会館 ９号室
定員：６４名

- ・案内文の作成を今井委員が担当することとした。

- ・次年度は、大阪会の入口氏へ講師打診を行うこととした。

（５）復興支援（復興計画の情報を収集） → （２）に準ずる。

（６）その他

フェイスブックのファンページ利用について

- ・現在は、オフィシャルな情報をアップしている。
- ・次回、委員が使用方法を知らないので、寺本副委員長に解説頂くこととした。

次回 平成２３年１２月 ９日（金）15:00～17:00 神事協会議室にて 会議終了後に忘年会を実施。

23～24年度 第6回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成23年12月 9日(金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 前回議事録の確認 埼玉会景観整備機構勉強会議事録の確認 その他 ・景観・まちづくり委員会の活動と「景観整備機構」を平山委員長が作成し、委員長会にて説明した旨を報告。 ・各種講習会案内を配布。			
3. 議 題			
(1) 次年度事業について(再修正等) → 修正なし			
(2) 神奈川県からの委託事業について			
・工程表作成、仕事分担(他委員会へお願いする内容も含めて)			
< 仮設住宅についての課題等 >			
・神奈川県内でできるもの → 業者リスト等の作成			
・居心地の良い仮設 → 居心地の良いとは? 設計の範疇で検討。			
・プレハブではできない問題点			
・仮設から恒久化への利用			
・リサイクル			
・現地での雇用の発生			
・木の持つ温かみ → アンケート等での裏づけが必要。			
・県産木材の積極的な利用 → 県産材のストック量は?			
・間取りのバリエーション			
・軸組み、トラス、金物工法、合掌造り、大空間(コミュニティスペース) ワンルーム的なもの等			
・立地と仮設のミスマッチを防ぐ → 用地を事前に調べる?			
・ユニバーサルデザイン、バリアフリーの取り入れ → 現状を調べる			
・浄化槽の問題(処理容量)			
・シェアハウスの対応検討			
・工法等のバリエーション調査(コンテナハウス3階建て等)			
・集会所の扱われ方			
< 検討内容 >			
・住み心地 → 広さ、間取り、断熱、省エネ等、設備、メンテ、住棟配置、プラン			
・供給する際に発生する問題点			
・現地調査			
・物理的な性能 → 都心型、郊外型、設備、エアコン、断熱			
・精神的な性能 → コミュニティの確保(コミュニティの動線) コミュニティの配置パターン(入り口付近、中心部等)			
・今後は、ハイブリッド提案(木造と非木造)も必要では?			
< 居心地についての検討 >			
居心地 → 敷地内の性能 — 外灯 菜園・畑/ペット			
→ 各住戸の居心地			
↓			
○物理的な性能 — プランニング — 都心型、郊外型、世帯規模、家族構成			
建築的 — 断熱、気密、プランニング、シックハウス、家具、押入			

設備的 — 空調換気、トイレ、便座（暖房、ウォシュレット）
ユニットバス、シンク

○精神的性能 — プランニング — コミュニティと実際の運用管理
コミュニティ → 集会場、商店、保健室

建築的 — 木造、広さ（現状 4.5 畳 × 2 ケ 間仕切りあり）、窓の大きさ
物干、出入口、音、臭い

○その他 — 看護、医療、介護、ボランティア、復興、雇用、未来へ
高齢者、車イス、グループホーム、シニアハウス、障がい者
心のケア、カウンセリング、オウライバシー、共有空間、ユニバーサルデザイン

・現地調査に当っては、3 県の事務所協会へ会長名と委員長名で仮設住宅を見る協力依頼を作成する。

・調査費の概算 3 日間を想定（岩手→宮城→福島）

レンタカー（1 BOX）：60,000 円（20,000 円 × 3 日）

交通費：30,000 円

ガソリン代：約 50,000 円（300 L × 150 円）

宿泊費：72,000 円（6,000 円 × 6 人 × 2 日）

手土産：3,000 円

合計：210,000 円～250,000 円

○工程表について（案を提出）

・課題等の検討を 12 月中旬からに修整する。

（3）景観整備機構になるための準備

各自治体の条例の整備等についての内容把握（情報収集） → 次回へ

横浜市：平山委員長、川崎市：今井委員

鎌倉市：寺本副委員長、座間市：花田委員

（4）復興支援（復興計画の情報を収集） → 上記（2）にて

（5）研修会の実施内容について

日時：平成 24 年 2 月 21 日（火） 会場：横浜市開港記念会館 9 号室

講師：平山委員長、埼玉会 浅野氏

・今井委員より企画書（案）の提出があり、「趣旨」、「狙い」、「集客について」、「表題」等について説明された。

また、研修会の案内を今井委員が作成することとした。（12/20 までに作成）

・＜収入＞ 2,000 円 × 50 名 = 100,000 円 ＜支出＞ 60,000 円（会場費、講師料、交通費等）

（6）その他

フェイスブックのファンページ利用について

・勉強会（講師：寺本副委員長）を実施した。

南足柄市「景観シンポジウム」の案内を配布

次回 平成 24 年 1 月 5 日（木） 17:00～ 神事協会議室にて

23～24 年度 第 7 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 1 月 5 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田		
1. あいさつ 芝副会長、平山委員長、各委員より 2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 3. 議 題 (1) 神奈川県からの委託事業への対応について 各種届出書類の確認 ・工程表については、課題等の検討を 12 月中旬からに修整する。 ・情報管理体制等届出書については、情報管理責任者：三杉専務、副責任者：磯部、担当者：平山委員長とした。 ・作業責任者届出書については、平山委員長とした。 以上を県へ提出することとした。 2011.12.20 調査費概算についての正副会長意見 ○出張費は協会規程で算定し、20 万円未満で全てを納めること。人数を絞ること。 ○まちづくり委員会でまとめる費用（会議費、印刷費等）は、10 万円以下とする。 ○工法検討の費用は、15 万円未満とする。 上記を含め修正し、理事会等へ提出すること。 ・正副会長の意見をもとに再度検討し、下記に修正した。 参加者：平山委員長、寺本副委員長、今井委員、花田委員（ 4 名） レンタカー（ 5 人乗りクラス）：4 日分 39,375 円（ 11,025 円×1 日 + 9,450 円×3 日） 宿泊費：80,000 円（ 10,000 円×2 日×4 人） 食事代：46,000 円（朝 1,000 円×2 日×4 人 + 昼 1,500 円×2 日×4 人 + 夜 2,500 円×2 日×4 人） 日当：30,000 円（ 2,500 円×3 日×4 人） 高速料：10,300 円 ガソリン代：18,450 円（約 1,600km で 10km/l = 123 L × 150 円） 手土産代はカットする。 合計 224,125 円 正副会長の指示である 20 万円を 24,125 円超過するが、会議費より捻出させて欲しいと要望することとした。また、この資料を 1/12 委員長会へ提出することとした。 県との打合せ日について 第一候補：1/12 9:00～ 第二候補：1/10 9:00～ 第三候補：1/13 9:00～ 以上で県へ打診し、決定次第連絡することとした。 仕事分担（他委員会へお願いする内容も含めて） 県別調査候補地の検討 < 岩手県 > 岩手県遠野市仮設住宅希望の郷「絆」(コミュニティケア型住宅) 岩手県陸前高田市小友町獺川第 2 仮設団地（木造在来軸組工法壁パネル工法） 岩手県釜石市（コミュニティケア型住宅）			

<宮城県> 宮城県石巻市北上町白浜復興住宅「村」再生プロジェクト（恒久住宅の建設）
宮城県柴田郡 県内事業者の活用例
宮城県石巻市 グループホーム型（ケア付き仮設）

<福島県> 福島県三春町 県内事業者の活用例
福島県いわき市 スギ板倉の仮設住宅（木造在来板倉工法）
福島県郡山市 ＰＣパネル造２階建仮設住宅

上記で時間と距離のシミュレーションを作成すると共にホテルも探す。（担当：寺本、磯部）

被災地建築調査対象資料の雛型等について

- ・花田委員が作成した雛型を配布。上記建物のデータをこの雛型にまとめる。

（３）景観整備機構になるための準備 → 次回へ

各自治体の条例の整備等についての内容把握（情報収集）

横浜市：平山委員長、川崎市：今井委員
鎌倉市：寺本副委員長、座間市：花田委員

- ・２～３年を目途にスケジュールをしっかりと立てていきたい。
- ・防災等も視野に入れた方がよい。

（４）復興支援（復興計画の情報を収集）→ 上記（２）にて

（５）「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり」

“景観整備機構と建築士の役割”勉強会の運営について

日時：平成２４年 ２月２１日（火） 会場：横浜市開港記念会館 ９号室
講師：平山委員長、埼玉会 浅野氏

埼玉会の浅野氏への講師依頼事項について

- ・埼玉会における景観整備機構の概要（経緯と現状）について

時間割りと進め方

14:00～14:05	あいさつ	14:05～14:55	講演	15:00～15:50	講演
15:50～16:00	休憩	16:00～16:30	ディスカッション		

ディスカッションの方法について

- ・紙に記載させる、話をさせる等を行いたい。
- ・質問を３問程度用意し、隣の人と交換して意見交換等を行う等は？との意見があった。
方法については、今井委員と花田委員が担当し、決定する。

（６）その他

会報２月号の原稿について

花田委員より原稿（案）の提出があり、内容を多少修正した。
また、写真については、缶詰の販売写真を使用することとした。

次回 平成２４年 １月１９日（木） 17:00～ 神事協会議室にて

23～24 年度 第 8 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 1 月 1 9 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ×寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田		

1 . あいさつ 芝副会長より

2 . 各種報告 前回議事録の確認
委員長会報告
・平山委員長より報告され、本日の議題にもなっているので宜しくお願いしたい。

その他 各種講習会案内を配布し、参加をお願いした。

3 . 議 題 (予定)

(1) 次年度事業計画等の修正について

・現在提出している事業計画案及び総財務委員会が作成した修正案を配布。

< 修正点 > 下段のように修正した。

(収入)

・研修会 1 受講料 2,000 円 × 50 名 = 100,000 円 を 2,500 円 × 30 名 = 75,000 円 とした。

・研修会 2 受講料 2,000 円 × 50 名 = 100,000 円 を 2,500 円 × 30 名 = 75,000 円 とした。

(支出)

・研修 1 会場費 20,000 円 を 0 円とし、神事協会議室にて行うこととした。

・研修 2 会場費 20,000 円 を 0 円とし、神事協会議室にて行うこととした。

・情報収集 20,000 円 を 10,000 円 とした。

・組織立上げ県等 20,000 円 を 10,000 円 とした。

・事例調査・検討 100,000 円 を 80,000 円 とした。

・被災地(3 県)との情報交換会の実施 200,000 円 を 150,000 円 とした。

(2) 神奈川県からの委託事業への対応について

・平山委員長より調査建物等への連絡を行った結果が報告され、協力依頼を送付することとした。

岩手 1 : 遠野市仮設住宅 1/25 10:00～11:00 (株)リンデンバウム遠野 (立花社長)

岩手 3 : 平田第 6 仮設団地 1/25 13:00～14:00 釜石市仮設住宅運営センター (小池所長)

岩手 2 : 陸前高田市小友町 1/25 16:00～17:00 住田住宅産業(株) (中野 和人様)

上記の内、岩手 3 については現地可。

宮城 1 : 石巻市北上町復興住宅 1/26 9:00～10:00 (有)熊谷産業 (首藤 様)

宮城 2 : 亶理郡山元町 1/26 16:00～17:00 (株)八重樫工務店 (立田 様)

宮城 3 : 石巻市中里 プレハブ建築協会が実施したものであるため、連絡はとっていない。

上記の内、宮城 2 については現地可。

福島 1 : 県内事業者の活用例 1/27 9:00～10:00 (株)はしもと住宅店 (山田 俊嗣 様)

福島 2 : 木造仮設住宅 1/27 14:00～17:00 (社)福島県建設業協会 (高畠 亮 様)

菅野建設(株) (菅野社長)

福島 3 : PC パネル造 100 年住宅(株)については、本社が静岡県にあるので、後日検討する。

上記の内、福島 1 及び 2 については現地可。

・原則、県庁は訪問しない。ただし、時間があれば廻ることも考える。

また、単位会については、宮城会と福島会に訪問を予定する。(時間的なものがあるので・・・)

・上記結果により想定タイムスケジュールを修整し、委員へ送付することとした。

情報収集、調査における各書式の作成

- ・調査物件概要表、調査票（チェックリスト）、所見票、提案書

県別に行った仮設建設に関する工程（スケジュール）、プロセス

- ・問題抽出、リスト作成、現状と課題、公募型、選定方法等

神事協としての提案（将来像）や委託継続のための今後のスケジュール

- ・勉強会、将来にむけた5年分程度のスケジュール（関係団体への勉強会等）

- ・上記について寺本副委員長が作成した資料を元に検討した。

< 調査内容 >

- ・発注体制
- ・公募の要領（要項）
- ・選定方法
- ・契約等の内容（期間、建設費、検査、引渡し等）
- ・インフラの整備（自社で行ったのか否か、課題等）
- ・設計との連携
- ・設計期間、設計料
- ・材料の集め方（通常時と応急時の違い等）、何社の材木店を使用したのか
- ・プレカット業者との連携
- ・職人の手配関係（多能工の養成等）、職人の役割分担（通常時と応急時の違い等）
例、大工がサッシ取付けまで行った等
- ・完了検査の受け方（修整箇所や手直しに要した期間、検査日数）

< 本委員会が調査したい内容 >

- ・住み心地（ゴミ、ペット等含む）
- ・団地の運営や運用方法
- ・仮設ならではのコミュニティの取り方（ストレス解消方法やイベントの実施内容）
- ・外部からの出入り
- ・診療所、介護等

仕事分担（他委員会へお願いする内容も含めて）

- ・平山委員長が、棕副会長、芝副会長、寺坂木造特別委員長と調整をし、共通認識を持つために会議を開催することとした。

（3）2/21 “景観整備機構と建築士の役割”、勉強会の運営について

- ・1/19 現在 10名の申込状況であることを報告。さらなる声かけをお願いした。

当日の次第及び担当について

- ・開会挨拶：芝副会長、閉会挨拶：寺本副委員長、司会：今井委員
- ・川崎市元住吉プレーメン通りの「まちづくり」の現状について、今井委員よりお話頂くこととした。

セミナー：ディスカッションテーマ案（花田案）

- ・景観整備機構の指定を受けたらこんなことがしたい、こんなことができそう
- ・まちづくりに最も必要だと思うこと
- ・今年自分がまちづくりについてしようと思っていること
- ・自分の住んでいる街がより魅力的になるには何が必要か

・ディスカッションテーマや方法については、今井委員と花田委員にて再検討を行うこととした。

(4) 景観整備機構になるための準備 → 次回決定する。

各自治体の条例整備等についての内容把握 (情報収集)

横浜市 : 平山委員長、川崎市 : 今井委員
鎌倉市 : 寺本副委員長、座間市 : 花田委員

機構になるための工程表 (スケジュール、ストーリー) の作成

・目標設定 : 2 ~ 3 月中に決定し、4 月に行政を廻る

(5) その他

次年度の活動スケジュールについて (提出期限 : 2 月末) → 次回決定する。

会員増強活動案の提出 (提出期限 : 2 月末) → 次回決定する。

今和二郎氏の新聞記事を参考配布 (2012.1.14 日本経済新聞)

次回 平成 2 4 年 2 月 1 5 日 (水) 14:00 ~ 17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第9回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成24年 2月15日(水)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田 (木造特別) 棕副会長、寺坂委員長、石関委員		
○一般社団法人工務店サポートセンターとの打合せ			
・(一社)全国木造建設事業協会 徳本専務が来所され、応急仮設木造住宅建設について説明された。 各県との協定締結 材料のストック体制の構築 人材育成(大工育成等) の3項目を目的にしている。			
1. あいさつ			
2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 各種講習会等の案内を配布し、参加協力をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 神奈川県からの委託事業への対応について			
木造特別委員会との打合せ(現在までの経緯報告)			
・調査実施内容について、寺本副委員長より報告された。			
・報告書のまとめ方等について 参考文献のまとめを今井委員が担当することとした。 木造全般、ケア対応型、その他(恒久住宅等) プレ協別にA4 1～2枚で作成。			
・調査地別のヒアリング内容等のまとめを平山委員長、寺本副委員長、花田委員が担当することとした。			
・作業分担等について：新工法の提案のまとめを木造特別委員会へお願いした。			
神事協としての提案(将来像)や委託継続のための今後のスケジュール等			
・報告の中で体制づくりの流れ等を提案することとした。			
(2) 2/21 “景観整備機構と建築士の役割” 勉強会の運営について			
当日の次第の確認			
・事例紹介に記載している今井委員の名前を削除する。 ・ディスカッションの欄に花田委員の名前を入れる。			
ディスカッション方法等について			
・4組に分ける。(テーマは、下記の4項目とした。) ・景観整備機構の指定を受けたらこんなことがしたい、こんなことができそう ・まちづくりに最も必要だと思うこと ・今年自分がまちづくりについてしようと思っていること ・自分の住んでいる街がより魅力的になるには何が必要か			
当日用意するもの			
・参加者の名札入れ ・サインペン(黒5本、赤2本、青1本)			

- ・模造紙
- ・A、B、C、Dを記載した紙

(3) 景観整備機構になるための準備

各自治体の条例整備等についての内容把握（情報収集）

横浜市：平山委員長、川崎市：今井委員
鎌倉市：寺本副委員長、座間市：花田委員

機構になるための工程表（スケジュール、ストーリー）の作成

- ・スケジュール
4月～10月 行政へのアプローチ
- ・研修会の実施
7月中旬及び2月中旬

復興支援関係

- ・10月：復興支援情報交流会実施
- ・11月～3月：交流会実施

(4) その他

次年度の活動スケジュールについて（提出期限：2月末）

- ・委員会開催：原則第3火曜日
4/17、5/15、6/19、7/17、8/21、9/18、10/16、11/20、12/18、1/15、2/19、3/19
- ・まちづくりに関する研修会の実施
7月中旬及び2月中旬
- ・県からの委託は、未定なのでいれない。

会員増強活動案の提出（提出期限：2月末）

<委員会としての会員増強>

- ・景観整備機構の活用
- ・まちづくり登録制度の構築（景観関係、復興支援関係の2通り）

<神事協としての会員増強>

- ・(社)神奈川県建築士事務所協会建築賞の実施（賞金付き、小規模建築物）
- ・経営に関する講習の実施及び充実（融資関係）
- ・若い人向けの講習会の実施
- ・3年以内に入会した新入会員との懇親会（懇談会）の実施
- ・講習会の質を上げる。

<事務所協会の魅力>

- ・地元ネットワークがしっかりとしている。

- ・色々な講習を実施していることは良い。

以上を提出することとした。

3/26 予算総会時の開始前に3県の調査報告会を開催することについて

→ 開催することとした。時間については、受付 13:30 ~ 開始 14:00 ~ 15:00 とした。

次回 平成24年 3月 7日(水) 13:00 ~ 15:00 (木造合同) 15:00 ~ 17:00 (通常会議)

23～24 年度 第 10 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 3 月 7 日 (水)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ×今井・○花田 (木造特別) 椋副会長、寺坂委員長		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 前回議事録の確認 その他			
3. 議 題			
(1) 神奈川県からの委託事業への対応について (第 2 回)			
木造特別委員会との打合せ			
) 調査報告書の作成 (まとめ方のイメージ、書式等)			
・ 平山委員長より報告書のタタキ台について説明された。			
・ 検証・分析のシステム・体制 (スキーム) の検討欄について			
→ 各組織のリストアップ (工務店等) 主だった所を探す。			
→ 仮設材料、備蓄システムの構築 (特に県産材)			
→ お金の問題 (金融機関との連携)			
→ 入居者の選定の問題			
→ 木造は恒久的に使用していくことの提案			
→ 木造 2 階建て、3 階建ての提案 (都心であるがため)			
・ 提案・まとめの今後の課題・進め方欄について			
→ コミュニティ			
→ 共同風呂			
→ 別棟トランク収納			
→ 傾斜地 (実際の敷地でのシミュレーション) → 次年度の仕事			
敷地の高低差をどうするか?			
コンクリートの打設、用地の条件 (インフラの整備、地盤情報の提供)			
→ 地域の気候に則した住宅性能仕様			
→ プレカットは大丈夫だが、輸送の問題がある			
→ 材は無いが、人はいる? 状態になるのでは?			
・ 別添資料について			
→ リストにあったものの PDF を印刷する。			
・ 参考書籍について			
→ ログハウス仮設、これなら住みたい仮設住宅 16 プラン等			
・ 木造特別委員会より可動間仕切りタイプを考えている旨の報告があった。			
タタキ台を 3/8 に送付するとのことであった。			
プレ協 - 図面、仕様のベース			
木造 - 図面、仕様			
・ 今井委員より参考文献資料のまとめ資料の提出があった。			
→ 日付順か雑誌ごとにまとめた直した方が良いとの意見があった。			
また、調査に行った所以外の建物については、リスト + レポートを作成することとした。			
この内容については、花田委員と今井委員で調整することとした。			
・ フォントは統一する。			
) 県への中間報告 (3/9 9:30 ~ 県庁 (住宅計画課にて)			

出席者：平山、寺本、花田、寺坂
上記タタキ台をもとに報告することとした。

）最終まとめ作業日程

3月14日 15:00～17:00 神事協会議室にて

その他

- ・次年度の予算にどの程度ついているか、専務に調べて頂く。
- ・製本についての見積りをとる。また、入稿締切りも聞く（3/21 納品できるように）
120 ページ程度。くるみ製本。10部。
- ・「東日本大震災応急仮設住宅の調査報告会」実施について
日時：3月26日（月）14:00～15:00 横浜市技能文化会館 多目的ホールにて
パワーポイントの資料を寺本副委員長が作成。説明者は、委員全員で行うこととした。

（2）景観整備機構になるための準備

各自治体の条例整備等についての内容把握（情報収集）

横浜市：平山委員長、川崎市：今井委員
鎌倉市：寺本副委員長、座間市：花田委員

機構になるための工程表（スケジュール、ストーリー）の作成

- ・目標設定の決定

7月中旬：大阪会の入口氏を講師とした研修会を実施。（平山委員長が打診する。）
2月中旬：堀先生を講師とした研修会実施。（100名程度の会場）
市町村にアンケート調査を実施する。次回、アンケートの内容を作成する。
パンフレットの作成をする。

（3）その他

「まち研三美会」の信州小布視察旅行について（横須賀支部 安達則子生活デザイン事務所より）

- ・周知協力をする。案内を関連支部へ送付して良いか打診する。
当委員会としても参加協力する。

2/21 勉強会の成果物について

- ・記録として残す必要があるため、データ化する。（担当：磯部）

委員の増員について

- ・各ブロック1名程度で構成したい。（委員がいないブロック：横須賀、中、湘南、県西）
県央ブロックの吉川さんの名前も挙がった。増員について、平山委員長が芝副会長へ打診する。

その他

- ・（財）建築技術教育普及センターと（財）神奈川県建築安全協会の助成事業について、調べて委員へ情報提供することとした。

次回 平成24年 3月14日（水） 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 12 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 4 月 1 7 日 (火)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田		
1. あいさつ 芝副会長より 県の吉田部長より委託についての話があった。			
2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・日事連建築賞の案内、講習会案内、地引網大会の案内を配布し、参加協力等を依頼した。 ・日事連資料の平成 23 年度建築復興支援センターの事業報告（概要）を配布した。 ・5/12 地引網大会に宮城会が出席するとの報告があった。（芝副会長より） ・気仙沼の復興コンペの一次審査を通過した旨の報告があった。（寺本副委員長） ・平成 2 4 年度の事業及び予算についての確認を行った。 ・土会連合会が 5/12 第 21 回まちづくり会議を北上市で開催する。（平山委員長より）			
3. 議 題			
(1) 委員増員について (理事会へ提出)			
・活発に活動出来る方でないと駄目。 ・各ブロックより 1 名の増員を行いたい。優先するブロックとしては、現在委員が出ていない横須賀、湘南、中、県西とした。			
(2) 2 4 年度神奈川県からの委託事業 (6 月頃発注予定) への対応について			
< 委託内容のイメージ >			
・候補地が少なく狭いため、アパート形式 (2 ～ 3 階建て) の応急仮設を考えたい。 → 住宅ハウスメーカー等への聞き取り ・傾斜地に建てた場合等の提案 (どの程度の勾配まで可能か等) ・再利用の有無 ・5 月に事前打合せを行うように県と日程調整を行う。(委託内容を明確にするため) 候補日：5/15 午前午後、5/18 午前、5/22 午前午後、5/23 午前午後 → 5/8 13:00 ～ 県住宅計画課にて ・今年度はプロジェクトチームを編成し、委託への対応を行いたい。(景まち、木造等)			
(3) 景観整備機構になるための準備			
・(社)日事連が、単位会にアンケートを実施する。 ・7 月の研修会では、大阪会の入口氏に講師をして頂くことし、本人も了承して頂いた。 ・建築士会が 2 4 年度に景観整備機構を立ち上げる。			
各自治体の条例整備等についての内容把握 (情報収集)			
・聞く、見る、知る			
横浜市：平山委員長、川崎市：今井委員 鎌倉市：寺本副委員長、座間市：花田委員			
・川崎市の窓口の方と話 (事業の内容、担い手が必要) はしている。 自主事業を上げる、自立出来る団体であること。 川崎支部が法人化し、景観整備機構を目指すこととなったと今井委員より報告があった。 本会と支部で連携を取っていきたい。			

チラシ、アンケート等の作成

- ・内容の検討

(4) (財)建築技術教育普及センターへの各種申請について

普及事業助成の申請について (寺本副委員長より案の提出あり)

名称：応急仮設住宅地計画コンペティション

区分：講演会、展示会、表彰、コンペとした。

期間：9月1日～1月31日

費用：総額 200 万円とし、負担希望額を 100 万円とした。

方針、項目、方法、効果等について再修正し、平山委員長が確認することとした。

調査・研究助成の申請について (花田委員より案の提出あり)

名称：応急仮設住宅における接合部の調査・研究

区分：及び

期間：6月1日～3月30日

費用：総額 130 万円とし、負担希望額を 100 万円とした。

目的、方針、項目、方法、効果等について再修正し、平山委員長が確認することとした。

- ・組立実験、強度実験、再利用、合理性、解体等のキーワードを入れる。

上記2点については、提出前に上原会長へ確認をお願いすることとした。

(5) その他

12/18 委員会開催日変更について → 次回へ

近畿日本ツーリストの提案書について

- ・相模原支部で検討することとなった。

次回 平成24年 5月15日(火) 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 13 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 5 月 1 5 日 (火)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 × 芝京子 ○ 平山委員長 ○ 寺本副委員長 (委 員) ○ 今井・○ 花田		
1 . あいさつ 2 . 各種報告 前回議事録の確認 委員増員（募集）についての報告 ・ 横浜、横須賀、湘南、中、県西の各ブロックより 1 名。 → 5 月末までに各ブロックより推薦者があがり、6 月の理事会にて正式承認の予定。 (財)建築技術教育普及センターへの各種申請の報告（4/25 送付） ・ 6 月末日に採択の結果が発表される。 2 4 年度神奈川県委託事業の事前打合せの報告 ・ 県からの具体的な提案は無かった。（検討中である） ・ 委託費は 2 3 年度並みである。 < 当会からの提案 > ・ プレハブ建築協会の供給量と必要量がマッチしていない。 早く作れるもの、量が確保出来る方法の検討→職人の手がなくても作れるようなもの ・ 実際の敷地提供を頂き、想定したい。（郊外、都心部、傾斜地、農地等） ・ プレ協以外の場合は、木造として欲しい。（材が多い。） ・ 建設の方法、工法等の検討 ・ 土地の提案を頂きたい。（市町村にお願いする） ・ プレハブ並みの仕様、フレキシブルな対応性（自由性） 一つで固めたくないのも… ・ しくみづくりが必要である。 その他 ・ 各種講習会案内を配布。 ・ 宮城会の報告 復興支援をどうすれば出来る化？ → 宮城会で関わっている人は？ 東松島市は、NPOコーポラティブと行っている。 応急仮設は、地域ネットワークが必要。 ・ 浦安の液状化と基礎構造の資料配布（東京会会報より抜粋） 3 . 議 題 (1) 景観整備機構になるための準備 各自治体の条例整備等についての内容把握（情報収集） 横浜市：平山委員長、川崎市：今井委員 鎌倉市：寺本副委員長、座間市：花田委員 ・ 川崎支部の動きについて（今井委員より報告） 支部の中に委員会を設置予定。 今後、支部と本会との連携をどうするか。情報交換がしたい。 川崎市より整備機構の指定を受けたい。 チラシ等の作成 ・ 表題を「私たちは、景観・まちづくりを支援します」 ・ 応急仮設の研究と復興支援については、裏面に掲載する。 ・ 景観整備機構とは？説明を入れる。 ・ 活動実績を掲載する。（委員含む）			

まちづくり支援（石川町商店街、ブレーメン商店街）
木造住宅密集地の防災まちづくり支援（神奈川区浦島町）
景観協定実態調査
コーポラティブ方式

- ・ 研修会受講者の名簿を入れる。（支部名、事務所名、受講者氏名） → 受講者に承諾を得る。
- ・ 写真は景観を意識したものとする。（神奈川県内の景観）
- ・ 裏面の最後に連絡先を入れる。

研修会等の開催について

- ・ 大阪会が開催している「景観まちづくりプロ養成講座」のホームページ記事を参考配布。
- ・ 開催日を平成24年7月27日（金） 神事協会議室にて実施することとした。
講師の入口氏（大阪会）も了承済み。
- ・ 内容 景観整備機構の成り立ち、経過等
現在行っている活動の内容紹介
ワークショップ
- ・ 講師依頼と共に前回開催した案内を送付することとした。

事例紹介研修の開催について

県内で活動しているグループより活動の内容を話して頂く。

候補 横浜洋館住宅を考える会 一間洋館（ＹＹＪＫ）

三崎（まち研三美会）

石川町商店街

座間市

ブレーメン商店街

候補より2グループにお願いする。

開催日 平成24年11月2日（金） 神事協会議室

内容 事例紹介（1時間×2グループ）+ ワークショップ（1時間）

景観に関する行政へのアンケート項目について

- ・ 景観行政団体ですか？ ☐ はい ☐ いいえ
いいうえの場合、いつとりますか？
窓口はどこですか？
- ・ 景観計画はありますか？
どこ？
内容は？
- ・ 代表的な（大切にしたい）景観は？
どこ？
どんな？（何が良いのか？）
- ・ 景観整備機構について
指定することは可能ですか？
何を期待しますか？
景観、資源等の調査研究、イベント（セミナー）、継続的な保全活動、講師派遣
- ・ 景観まちづくりについて
歴史的建物、まちなみ、保全
住宅地の景観
商店街の活性化
自然の保護（保全） 等々

(2) 今後の作業スケジュール等について

- ・ガントチャートを配布。

仮設住宅研究および復興支援関連

- ・神奈川県木造応急仮設住宅建設システムのイメージ図（23 年度提案）
 - ・福島県応急仮設住宅建設事業 組織図
 - ・プレハブ建築協会の応急仮設建設に関する組織図等
 - ・日本赤十字社の応急仮設住宅の設置に関するフロー（災害時、平常時）
 - ・地域復興住宅とは？（設計と生産システムガイドライン抜粋）
- 以上を参考資料として配布。

- ・仮設住宅提案コンペ実施（助成金申請中）
- ・仮設住宅の接合部研究（助成金申請中）
- ・仕組み提案、関連団体との意見交換、調査報告書作成（県委託予定？）

上記各項目別のプロジェクトチームが必要となるので、委員長会へ提案書を提出する。
（応急仮設コンペWG、応急仮設接合部研究WG、応急仮設建設システム検討WG）

- ・日事連がまちづくりに関するアンケート実施する予定なので、応急仮設と復興支援の取組みについて項目を設けて頂くようお願いする。（平山委員長）
- また、アンケートの案が出来たら神事協事務局にも送付頂くようお願いする。

景観整備機構関連

- ・景観整備機構のイメージ図を配布
- ・勉強会、研修会の開催（入口氏、堀先生、事例紹介）
- ・行政まわり
- ・条例整備状況調査
- ・全国の活動事例調査（日事連がアンケート実施予定）
- ・指定機構の視察勉強会
- ・組織構築、組織調整および承認、県へ指定申請手続き

(3) その他

委員会開催日変更等について

- ・6/19 時間変更（講習会が実施されるため） → 変更無し
- ・12/18 日程変更 → 次回検討

次回 平成24年 6月19日（火） 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 14 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 6 月 2 2 日 (金)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田・○山口・○大沢・○三橋・○瀬戸		
1 . あいさつ 芝副会長より			
2 . 自己紹介			
3 . 各種報告 前回議事録の確認			
・日事連がまちづくりに関するアンケート実施する予定なので、応急仮設と復興支援の取組みについての項目を設けて頂くようお願いしたが、却下されてしまった。との報告があった。			
委員会開催日程の確認 (15:00～17:00 神事協会議室にて)			
7/17、8/21、9/18、10/16、11/20、12/17、1/15、2/19、3/19			
その他			
・委員会名簿を作成し、メールで送信するので確認をお願いした。			
・各種講習会案内を配布し、参加をお願いした。			
4 . 議 題			
(1) 景観整備機構になるための準備			
各自治体の条例整備等についての内容把握 (情報収集)			
横浜市：平山委員長、川崎市：今井委員			
鎌倉市：寺本副委員長、座間市：花田委員			
・委員の支部の市町村の情報を収集することが目的。			
・川崎支部の報告			
指定するための審査内容等について、次回情報提供予定であると今井委員より報告された。			
チラシ・アンケートの作成			
・景観整備機構を目指すためにアンケートを実施する。(相手の考えを知る)			
・アンケートのたたき台が花田委員より提出され、内容を確認した。			
・主旨、目的、流れを作成する。FAX でも回答できるように番号を記載する。			
・県内市町村宛のアンケート協力依頼文を作成する。			
・アンケートと共にチラシを作成し、一緒に渡したい。			
できれば、委員の支部が管轄する市町村へは持参し、顔つなぎも含めて実施したい。			
不可能な場合は、郵送とする。			
7/27 研修会の開催について (案内作成等)			
・担当を今井委員とした。			
・講師の入口さんへ連絡し、プロフィール及び話す内容を聞き、案内に入れることとした。			
・ディスカッションテーマは、内容を聞いて決定する。(時間は、1 時間程度)			
・会場は、神事協会議室とし、定員 30 名とする。			
11/2 事例勉強会の開催について			
・担当を花田委員とし、依頼文の作成をお願いした。			
・座間市役所職員については、オファーがあれば検討して頂けるとの回答であった。(花田委員より)			
・内容としては、横浜洋館住宅を考える会 一間洋館 (Y Y J K) と座間市の取組みについてとした。			

その他

- ・「まちづくりと景観を考える全国大会」の資料を平山委員長より配布された。
（城南住宅組合の事例、自由が丘地区の事例）
- ・実際に活動している現場に行くことも視野に入れる。（事例見学会等）

（２）（財）建築技術教育普及センターの事業助成の対応

- ・普及センターの事業助成に、「木造応急仮設住宅の接合部に関する調査・研究」と「応急仮設住宅計画コンペティション」を申請し、「応急仮設住宅計画コンペティション」について選考された。
- ・「応急仮設住宅計画コンペティション」の対応について（実施費用 100 万円）
実施内容について、寺本副委員長より説明された。
- ・審査員については、昨年度応急仮設の調査委託を受け、被災三県を訪問した際に面識のできた大学の先生等の関係者、神奈川県、当会会長等を予定している。
- ・県担当者に敷地の提供を打診する。市町村との話になると思われるので、パイプ役も依頼したい。
至急、県と協議を行う。（候補日：6/26、7/4、7/5、7/6 いずれも午前）
- ・募集要項作成を寺本副委員長が作成する。
- ・「住・緑・家」運営特別委員会へも協力を打診することとした。

（３）2012 みらいふれあいフェスティバルについて（10/20～10/21 横浜産貿ホール）

担当：展示部会（企画業務委員会、木造特別委員会と共に）
下記 ～ を担当することとなった。

出展者との調整

- ・行政（森林、太陽光発電等）については、白井ブロック委員長と玉田「住・緑・家」運営特別副委員長が現在打診中である。

建築仕事作品展（非会員含む） 募集案内等の作成、出展者との調整等

- ・作品募集案内の作成については、横浜支部で開催している文化展の募集案内を山口委員より送付頂き、参考とする。また、鎌倉の仕事展の作品募集案内についても大沢委員より参考に送付いただくこととした。（担当：寺本副委員長）
- ・士会、JIA への協力依頼も作成する。（５点程度）
- ・作品の提出は、A 1とした。
- ・学生の作品も含めて、作品数を４０～４５点を想定。５ブースの使用希望を出すこととした。

県内学生の作品展 各大学への依頼、調整等

< 大学 >

- ・横浜国立大学（昨年度出展実績あり） → 磯部が打診中。
- ・神奈川大学 → 担当：磯部
- ・関東学院大学 → 担当：平山委員長
- ・明治大学 → 担当：磯部
- ・東海大学 → 担当：花田委員
- ・東京工芸大学
- ・都市大学東京

< 専門学校 >

- ・浅野工学専門学校 → 担当：平山委員長
- ・横浜日建工科専門学校 →

その他

- ・開催日は、手伝いをお願いするので予定して頂くこととした。
- ・企画書及びチラシの PDF データを委員全員に送付することとした。

(4) その他

12/18 委員会開催日変更等について → 12/17 とした。

情報提供

- ・千葉県旭市いいおか復興観光まちづくりコンペについての情報提供があり、応募はしたいが、当委員会ではスケジュール的に対応が厳しいため応募はしない。(平山委員長より)
- ・日本の景観保全に関する新聞記事を配布した。(芝副会長より)

ドロップボックスの活用及び Facebook の登録について

- ・ドロップボックスを活用してデータを共有しているので、インストールをお願いしたい。案内を送付するので、指示に従って登録をお願いした。
- ・当委員会の Facebook ページを作成しているので、委員は管理者として登録して頂きたい。「いいね」ボタンを押していただければ、案内します。また、登録をしていない方は、登録をお願いします。

次回 平成 2 4 年 7 月 1 7 日 (火) 15:00 ~ 17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 15 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 7 月 1 7 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ×今井・○花田・○山口・○大沢・○三橋・×瀬戸		
1．あいさつ 芝副会長より			
2．各種報告 前回議事録の確認 ・みらいふれあいフェスティバルの企画書及びチラシデータを委員へ至急送付すること。 新委員の推薦について 横須賀ブロック（湘南三浦支部） 小島建築設計事務所 小島 紀雄様 → 8/9 の理事会にて承認予定。 その他 ・国交省 まちづくり支援事業（サポーター制度）について ・各種講習会案内等を配布。			
3．議 題			
(1) 景観整備機構になるための準備			
各自自治体の条例整備等についての内容把握（情報収集）			
チラシ・アンケートの作成			
○アンケートについて（花田委員よりタタキ台の提出あり） ・共通として、ご記入ください → ご記載くださいへ修整する。 ・回答先 F A X 及び連絡先を記載する。 ・回答依頼文（送付状）のタタキ台を作成（会長と委員長名） ○チラシについて（チラシの構成について、寺本副委員長より説明） ・委員のまちづくり活動経歴をパンフレットに記載することとした。			
○年	内容		
	会津大町通り 「景観協定整備調査」		
	会津野口英雄通り 「まちなみデザイン整備事業」		
	プレーメン通り 「環境整備事業&ルール作り」		
	石川町商店街 「環境整備事業&ルール作り」		
	南足柄市 「景観整備、景観まちづくり応援隊」		
	箱根町 「景観整備、景観アドバイザー」		
	喜多方市 「蔵の町を守る会」		
	蔵の再生、活用に関する活動 多数		
上記に実施年を記載する。（各委員で記載）			
7/27 研修会の確認			
・前回受講者へ案内を再送付する。 ・申込者のデータを委員へ送付する。 ・7/27 集合 12:00 ・司会：寺本副委員長、開会挨拶：芝副会長、ワークショップ 担当：花田委員、閉会挨拶：平山委員長 閉会挨拶時に次回の予告（11/2 事例紹介研修）を行う。 入口講師のプロフィールデータを寺本副委員長へ送付する。 ・ワークショップ担当を 3 グループに分ける・			

- （今井、大沢、瀬戸）（寺本、三橋、小島）（平山、山口、入口）とした。
- ・ワークショップの実施方法等について
自己紹介 → テーマ選択（流れについては、花田委員に一任した。）
ディスカッションテーマ（下記の3つとした。）
 - ・まちづくりのきっかけづくり。どう街にかかわっていくか？
 - ・身の周りの景観資源
 - ・当日の内容により決定する。（担当：花田委員）
- ・用意するもの
ポストイット（3～4色 大きいサイズ）
模造紙（A1版くらいの大きさ）
マッキー（太くて長いもの） 8色セット×3セット
- ・懇親会場を用意する。会費 3～4,000 円程度。

（２）応急仮設住宅計画コンペティションの実施について

- ・7/13 県住宅計画課との打合せ内容について報告された。
- ・敷地の選定を行うので、7～8月に各担当市へ行き調整を行う。
横浜市：平山、山口、今井
小田原市：芝、瀬戸、花田、三橋
三浦市：寺本、大沢
県から市の窓口をお知らせ頂くと共に担当窓口には連絡して頂けることとなった。
候補地については、皆で決定する。

< 応募要領について >

- ・応募資格：国籍は問いません。個人、グループの応募も問いません。
- ・テーマ：別途考える。（申請書の文章よりブラッシュアップする）
- ・入選：最優秀賞 1点 10万円、優秀賞 2点 5万円、佳作 数点
- ・審査員（案）：当会会長、県職員（部長 or 課長）大槻教授、福島県建設業協会、横浜市職員
計 9 万円
- ・応募方法：申込書（メール添付の申込書か、ホ - ムペ - ジより申込書をダウンロード）に必要事項を記入の上、神事協事務局まで郵送もしくは F A X にて申込みする。
- ・提出先：(社)神奈川県建築士事務所協会
- ・提出図面：設計趣旨（文字数は 200 字以内とする）
図面：配置図兼平面図・その他（立面図、パ - ス、模型写真等表現は自由）用紙右下に受付番号を記載すること。
縮尺：配置図兼平面図は、1/100。平面図・立面図は、1/50。
用紙：材質は自由とし、A 1 版 1 枚にまとめる。（裏面使用不可。作品はパネル化しない。）
部数：2 部提出
- ・計画条件：材料、工法、工期、プラン、工事費、（住み心地、居住性）を考慮。
9 坪タイプを中心に 6 ～ 1 2 坪にて（国のとりまとめをみて考える。）
災害救助法を考慮します。（審査基準として）
別紙敷地条件図を参照して下さい。
敷地および敷地周辺写真は神事協ホ - ムペ - ジを参照して下さい。
設計と条件については、神事協ホームページを参照してください。
現地調査は、各自で行ってください。
- ・日程：9/1 発表
募集開始 10/1
募集締切 10/15 参加登録締切
質問受付 9/1～9/15
質問回答 9/30 ホームページ上にて
作品提出締切 12/5
一次審査 12/20
二次審査（プレゼン） 1/20
作品展示 3月

- ・審査：図面による一次審査を行い、選出された事務所による二次審査として、提出図面を用いた口頭によるプレゼンテーションを行い、設計者を決定する。
- ・発表：平成25年 2月中旬 （神事協ホ - ムペ - ジ記載および本人通知による。）
落選者への通知は致しません。

(3) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて (10/20～10/21 横浜産貿ホール)

建築仕事作品展 (非会員含む) 募集状況等の報告

- ・応募数：9事務所

県内学生の作品展 各大学への依頼、調整等の報告

- ・横浜国大 (後援×、作品○)
- ・神奈川大学 (後援○、作品○)
- ・関東学院大学 (後援○、作品○)
- ・東京工芸大学 (後援○、作品○) 予定
- ・明治大学理工学部建築学科 (後援○、作品○)
- ・浅野工学専門学校 (後援○、作品○)
- ・東海大学 (後援○、作品○) 予定 → 後日正式依頼文発送。

○鎌倉支部 作品等展示会 展示方法について

1. 内容 ; 自由
2. パネル：a-1 縦使い
木製パネルは× 縁付きの既製品アルミパネルあるいはハレパネとする
上部に紐などを予め付けておく。展示方法は上部釘吊り。
3. その他展示：壁面下に奥行き45cmの机を用意しているので模型、会社案内、名刺などをパネル幅程度で置くことは可

(4) その他

復興支援先について

- ・宮城県亘理町の「NPO 復興わたり・あらはま (事務局長：渋谷氏 建築士)」から復興支援をしたいが進まない状況であるとの話があった。
手伝えることはあるのか? → 集会場の設計提案等があるとのことであった。

次回 平成24年 8月21日 (火) 15:00～17:00 神事協会議室にて 会議終了後に懇親会実施。

23～24年度 第16回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成24年 8月21日(火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ○今井・○花田・○山口・×大沢・○三橋・○瀬戸・○小島		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 自己紹介及び委嘱状の授与			
3. 各種報告 前回議事録の確認 日事連アンケート「景観整備機構活動状況調査」回答報告 ＜希望する情報として、下記を記載した＞ ・専門家リスト（特に学識経験者） ・先進事例集 ・すでに取得した単位会の取得に至るための具体的な方法の情報 その他 ・各種講習案内等を配布。			
4. 議 題			
(1) 景観整備機構になるための準備			
各自治体の条例整備等についての内容把握（情報収集）			
・神奈川県内の景観行政団体一覧を配布。			
チラシ・アンケートの作成			
＜アンケート＞			
・アンケート案について花田委員より説明された。 ・アンケートの依頼主欄は調査協力依頼文に合せることとした。 ・アンケート調査協力依頼文、アンケート、チラシをセットとし、行政を廻ることとした。			
＜チラシ＞			
・タタキ台について寺本副委員長より説明された。 チラシに過去2回の勉強会出席者の名前を記載したい。 →出席者に掲載して良いかの確認をする。 ・実績の年数が入っていないので、至急お知らせ頂きたい。 ・コーポラティブについても掲載をする。			
その他			
＜川崎支部の報告＞			
・景観整備機構に対する足並みが揃っていない。（理解されている人といない人とのギャップがある。） ・支部内に委員会を作ろうという動きもある。 ・本当に事業に結びつくのか？との疑問の声もある。 →当委員会で道筋を作ることが必要。（支部の関心をつなぎとめる）			
(2) 応急仮設住宅計画コンペティションの実施について			
実施要領の作成			
・各敷地の住宅地図、航空写真、案内図の資料を配布。 ・応募要領ではなく、応募要項とする。 ・主旨文章については、平山委員長と寺本副委員長へ一任した。 ＜内容は下段とした。＞			

- ・【主催】(社)神奈川県建築士事務所協会(以下、神事協)
- ・【テ・マ】下記3つの候補地よりひとつ選択して提案する。

横浜市(狭小型)	都市部の敷地面積の小さい用地に対する提案
三浦市(段差型)	高低差により分割された中規模の用地に対する提案
小田原市(広域総合型)	広域防災拠点の一部の用地に対する提案
- ・【入選】最優秀賞 1点 10万円、優秀賞 2点 5万円、佳作 数点
- ・【審査員】(予定)記載は下記順とした。
 東京大学大学院大月敏雄准教授、神奈川県県土整備局建築住宅部長、横浜市建築局住宅計画課長、
 (社)福島県建設業協会専務理事、(社)神奈川県建築士事務所協会会長
- ・【応募登録方法】
 所定の申込書(ホームページより申込書(ワード)をダウンロード可)に必要事項を記入の上、神事協事務局までEメールにて申込みする。申込書受領後、登録番号を記載し返信致します。
- ・【作品提出方法】郵送又は宅配便か持参にて神事協事務局に提出。郵送、宅配便の場合は作品提出締切日の消印まで有効。
- ・【作品提出先】(社)神奈川県建築士事務所協会 事務局
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2階
 TEL 045-228-0755 Eメール: info@j-kana.or.jp
- ・【提出内容】
 設計趣旨: 文字数は200字以内とする。
 図 面: 配置図兼平面図・その他(立面図、パース、模型写真等表現は自由)用紙右下に登録番号を記載すること。
 縮 尺: 配置図兼平面図は対象敷地ごとに指定。 平面図・立面図は、1/50。
 用 紙: 材質は自由とし、A1版1枚にまとめる。
 (裏面使用不可。作品はパネル化すること。)
 提出書類: パネル1部。作品データ(PDF)(CD-RもしくはDVD-R)1枚。
- ・【応募資格】国籍は問いません。個人、グループの応募も問いません。
- ・【費用】無償にて応募して頂きます。
- ・【現地調査】現地調査は、各自で行ってください。
 但し、周辺住民等へ迷惑をかけないように十分配慮して下さい。
- 横浜市
 1) 現在は、まちのはらっぱとして使用していますが、この用地は事業予定地です。
 2) 横浜市へは問合せをしないでください。
 三浦市 → 調整中。別途指定日を記載
 小田原市 → 確認する
- ・【計画条件】
 別紙敷地条件等を参照して下さい。
 敷地及び敷地周辺写真は、神事協ホームページを参照して下さい。
 設計と条件については、神事協ホームページを参照して下さい。
 材料、工法、工期、プラン、工事費、(住み心地、居住性)を考慮して下さい。
 原則一戸当たり9坪タイプとする。但し、6~12坪タイプも提案して下さい。
- ・【日 程】(予定)
 要項発表: 平成24年 9月 1日
 登録開始: 平成24年10月 1日
 登録締切: 平成24年10月15日
 質疑期間: 平成24年 9月 1日~9月15日(最終日午後4時迄)に指定質問用紙にて
 神事協事務局にEメール(ワード、pdf形式)する。
 上記以外の日時の質問は受付ません。
 質疑回答: 平成24年 9月30日(ホームページに掲載)
 作品提出締切: 平成24年12月 5日
 一次審査(非公開): 平成24年12月下旬
 二次審査(公開プレゼン): 平成25年 1月下旬 会場: (社)神奈川県建築士事務所協会
 結果発表: 平成25年 2月中旬 入選者へ通知後、神事協ホームページに掲載する。
 また、落選者への通知は致しません。
 表彰式: 平成25年 3月 会場: (社)神奈川県建築士事務所協会

講評、講演、作品展示を同時開催致します。

- ・【審査基準】災害救助法を考慮します。(ホームページの別添資料参考)
- ・【審査方法】提出内容による一次審査を行い、5～10点を選出。二次審査にて、原則提出図面によるプレゼンテーションを行い、入選作品を決定する。
- ・【注意事項】
 - 未発表のオリジナル作品に限ります。
 - 応募作品の返却はしませんので、必要な場合はあらかじめ複製をとって下さい。
 - 応募作品の一部、あるいは全部が、他者の著作権を侵害するものであってはなりません。
 - 審査結果については一切の異議、疑義は出来ません。
 - 応募要項に逸脱した作品については、失格となりますので、ご注意ください。
 - 著作権について追記する。

○計画条件について

(横浜市版)

1. 敷地場所:
2. 用途地域:
3. 敷地面積:
4. 地盤: 十分安全なものとする。
5. インフラ: 上水、下水、電気、ガスは、完備されているものとする。
6. 住戸数: 自由に設定して下さい。
7. 平屋に限らず、2階建て、3階建ても可とする。
8. その他: 構造等(材料、構法)は、自由に設定して下さい。
9. 工期、供与期間等は、災害救助法によります。
10. 縮尺: 配置図兼平面図 1/300

- ・上記内容を基本とし、各敷地別に条件を入れ込む。(各市担当者)
- ・測量図を作成する。(各市担当者)
- ・案内図、航空写真、住宅地図、測量図を各敷地分用意する。(担当: 花田委員)

その他

- ・申込用紙及び質問書の作成をする。(担当: 磯部)
- ・最終確認を 8/30 10:00～11:45 で行う。(臨時委員会と、出席出来る方のみとした。)

(3) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて (10/20～10/21 横浜産貿ホール)

建築仕事作品展(非会員含む) 17 事務所
県内学生の作品展 A 1 パネル 27～29 枚、模型 3 点(AO版)

出展方法等について

- ・県産ひのき合板とプラダン(三角形)の展示を行う。S字フックを 45 個程度注文する。
- ・出展者への注意事項等を平山委員長が作成する。
- ・10/19 準備 15:00～18:00、10/20 準備 7:00～10:00 懇親会 17:30～、10/21 講演、片づけ 14:00～
担当シフトを次回決定する。

(4) その他

参考資料の購入について

- ・葉山の別荘(著: 杉浦敬彦 写真: 清水襄) 4,000 円が 2,000 円で購入出来る。
小島委員より提案があり、購入することとした。(小島委員へ支払いをする。)

次回、平成 24 年 9 月 18 日(火) 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第17回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成24年 9月18日(火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委 員) ×今井・×花田・×山口・×大沢・○三橋・×瀬戸・○小島		
1. あいさつ 芝副会長より 2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・みらいふれあいフェスティバルのチラシを配布。 ・9/14 委員長会報告(各委員会の活動内容を報告) 平山委員長より 3. 議 題 (1) 景観整備機構になるための準備 各自治体の条例整備等についての内容把握(情報収集) ・アンケートの確認 <依頼文> 宛名：景観関係担当者 様とする。 景観整備機構の前に「景観法第92条に基づく」を入れる。 ご送付をご返送へ 修正する。 <アンケート> Q3 ・ある ・ない に変更する。 Q4 ・その他()を追加する。 Q6 自分のまちの魅力作り を追加する。 差し支えなければ を ご担当者の へ変更する。 アンケート結果送付方法 を アンケート集計結果送付方法 へ変更する。 チラシの作成 ・裏面の委員活動経歴の日付を入れて頂くこととした。 ・表面の写真については、「石川町商店街」の計画図か平面図と「野口英世青春通り」の集計表を平山委員長より提供頂くこととした。 ・委員会委員氏名の欄は、役職をいれ、委員はあいうえお順に並べる。 ・研修会受講者に名簿掲載の許可を頂くこととした。 また、掲載順としては、支部順とし。その中をあいうえお順に並べることとした。 ・景観関係のまちづくり実績を研修会受講者より提出頂くこととした。 その他 ・11/2 勉強会の開催について 開催案内(案)を作成することとした。 (2) 応急仮設住宅計画コンペティションの実施について ・ホームページへのアクセス数の報告が寺本副委員長より報告された。 ・ポスター、チラシの配布先等について確認を行った。 追加として、松田土木事務所と南足柄市へチラシをもっていくこととした。(芝副会長) ・建通新聞、神奈川新聞、建プラへ掲載を依頼した。 応募状況の報告 6件の申込みあり。			

三浦市敷地の現場見学会日程について

- ・土日の候補日 10/6（土） 9/29（土）
 - ・平日の候補日 10/4（木） 10/5（金）
- 三浦市へ打診して日程を決定する。（担当：寺本副委員長）
- ・立会い者は、寺本副委員長、大沢委員、小島委員とし、各日2名で対応する。

Q & Aの作成

<株ファシリティープランニング>

- Q 1 . 設計趣旨はパネル内に記載するのをご指示ください。 → パネル内に記載して下さい。
- Q 2 . 作品データ(PDF)の原稿サイズは A3 版でよいをご指示ください。 → A3 版をお願いします。
- Q 3 . 集会所・談話室等は住戸数当たりの基準面積があるをご指示ください。
→ プレハブ協会を参照して回答を作成する。
- Q 4 . 建蔽率・容積率・日影規制等配慮する必要があるかご指示ください。
→ 法律上は特にないが、避難所生活を行う視点でお考え下さい。
- Q 5 . 三浦・小田原について、階数の規制はあるかご指示ください。 → 特にございません。
- Q 6 . 小田原について、構造を木造にすべきかご指示ください。 → 木造をお願いします。
- Q 7 . 小田原について、既存建物は無視して計画してよいをご指示ください。
→ 無視して構いません。
- Q 8 . 三浦について、レベル差が3ある敷地に自動車がアプローチできるのをご指示ください。
→ 出来ます。必要があれば現地調査日に確認して下さい。
- Q 9 . 提案場所が3カ所ありますが、1カ所の参加でもよいのをご指示ください。
→ 1カ所を選んで下さい。

<笹川健志>

- Q 1 . 5月21日に都道府県建築住宅部局と国土交通省、厚生労働省のワーキンググループが「応急仮設住宅建設必携」(中間とりまとめ)を公開し、応急仮設住宅の標準仕様改善の指針を示しています。
応急仮設住宅のあり方を展望するにあたって、考慮すべき指針ではないかと考えますが、本コンペティションにおいて何か見解がありましたらお聞かせいただけないでしょうか。
→ 平山委員長が回答を作成する。

<株アスデック建築事務所>

- Q 1 . 仮設住宅への入居者は、三浦市の居住者のみと考えてよろしいでしょうか。 → 結構です。
- Q 2 . 三崎高等学校の敷地において、進入路が見受けられますが(写真、) 資材搬入路として4t車が通れるものとして考えてよろしいでしょうか。
また、新たに資材搬入路を確保する場合、位置等は自由と考えてよろしいでしょうか。
→ 結構です。
- Q 3 . 一住戸あたりの工事費は、9坪タイプとし、000万円という記載でよろしいでしょうか。
→ 結構です。ただし、必要に応じれ詳細を書くことは構いません。

その他

- ・審査員の日程調整を今月中に行いたいので、9/25の午前中に横浜市(山田氏)及び県(阿比留氏)へ派遣審査員について確認を行う。(担当：磯部)
- ・審査項目、審査基準のタタキ台を作成する。

(3) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて(10/20～10/21 横浜産貿ホール)

- ・出展者(学校及び建築士事務所)へ出展方法等を送付(9/6)
東海大学の杉本先生と連絡が取れないので、平山委員長より連絡を取って頂くこととした。

作品名名札等のフォーマットについて

その他

- ・ 机の使用数は、作品数（模型等）に合わせて調整する。
- ・ 担当スケジュール案を作成し、各委員へ送付する。（担当：磯部）
都合の悪い方は、委員間で調整を行って頂くこととした。

（４）その他

スケジュール及び活動実績一覧の資料を寺本副委員長より説明。

- ・ 全国の活動事例調査 → 静岡県建築士会等
- ・ 各支部への説明キャラバン → 年明けに行いたい。（地域から出ている委員含め２～３名で）
- ・ 景観整備機構の組織構築及び調整承認 → 平成２５年４月と６月の理事会に提出。
- ・ 亘理町復興支援活動 → 宮城会の動きを聞く。（担当：芝副会長）

次回、ワーキンググループの設置について検討する。

- ・ 景観整備機構WG
- ・ 復興支援WG 等

次回 平成２４年１０月１６日（火） 15:00～17:00 神事協会議室

23～24年度 第18回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成24年10月16日(火)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 (委員) ×今井・○花田・×山口・○大沢・○三橋・×瀬戸・○小島・×小澤		
1. あいさつ	芝副会長より 日事連の景観まちづくり特別委員会委員に派遣している、横浜支部の小澤氏が新たに委員として加わった。		
2. 各種報告	前回議事録の確認 その他 ・応急仮設住宅計画コンペティションホームページのアクセス解析の報告 約3,000アクセス ・新委員が加わったので、委員会名簿(暫定版)を配布。		
3. 議題			
(1) 副委員長について	・委員の数も増えたため、副委員長を増やしたい。 → 互選の結果、花田委員を副委員長とした。		
(2) ワーキンググループ(WG)の設置とスケジュール等について	<目的> ・活動が多岐にわたってきているので、効率よく活動を進めるためにワーキンググループ(WG)を作り、活動スケジュールや内容の整理し、取りまとめたものを委員会にて決議する方法を取る。 また、各活動の基本骨子については、委員会にて提議、決定を行うものとし、決定した内容についての具体的な活動については、WGが整理、とりまとめを行う。 なお、各活動項目の実施については、委員全員で行うこととする。 <WG案> 景観整備機構WG 景観整備機構の指定に向けた取り組みについての企画立案、素案作成及び実施活動の取りまとめ等を行う。 担当者：花田、今井、山口、小島、小澤 復興支援・応急仮設住宅(県の委託事業等)WG 協会の復興支援活動に関するレポートのとりまとめや、県からの委託事業についての対応等を行う。 担当者：寺本、三橋、大沢、瀬戸 各支部サポート・研修体制構築WG 各支部のまちづくりに関する活動についてのサポートやスキルアップ等、各種支援活動の取りまとめ等を行う。 → 、 のWGに含め、委員会全体で活動する。 ・芝副会長及び平山委員長は、全体を掌握する。 ・現在考えられるスケジュール(案)を配布し、説明した。 → これを基に各WGにて詳細をつめることとした。		
(3) 景観整備機構になるための準備	各自自治体の条例整備等についての内容把握(情報収集)		

- ・参考資料配布。(景観行政団体の一覧、景観整備機構の内容、本会の組織図案、本会の活動実績)

アンケート及びチラシの作成

< 行政庁へのアンケートの実施について >

- ・ 1 2 月末までに各行政へ訪問し、 3 月 8 日までに回答を頂くこととした。
- ・ 持っていくもの (アンケート依頼書、アンケート、当委員会チラシ、日事連会報 2011.8 版)
- ・ 10/19 ~ 10/21 のみらいふえあいフェスティバル会場にて資料を担当者へ渡すこととした。

・担当者

担当者名	担当行政庁
平山 正義	神奈川県、横浜市 (18 区含む)
小澤 勝美	神奈川県、横浜市 (18 区含む)
山口 徹	茅ヶ崎市、寒川町
今井 博康	川崎市、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、開成町 山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町
小島 紀雄	横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町
大沢 匠	藤沢市、鎌倉市
三橋 要	伊勢原市、平塚市、二宮町、大磯町
花田 茂	座間市、海老名市、綾瀬市、厚木市、清川村
寺本 勉	相模原市、大和市、秦野市、愛川町
瀬戸ひふ美	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、開成町 山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町
芝 京子	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、開成町 山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町

- ・ 訪問にあたっては、実費交通費+日当を支給致しますので、後日請求をお願いします。
また、担当者同士、調整を行い訪問して下さい。

< チラシの作成について >

- ・ 委員会委員氏名欄に新委員の小澤勝美 (横浜支部) を追加する。
- ・ 花田委員が副委員長となったため、その旨を記載する。
- ・ 委員のまちづくり活動経歴 (修整)
2008 ・ ~ を付ける。石川町商店街 を 石川商店街へ修正。
2009 ・ ~ を付ける。(2 か所)
2007 ・ ~ を付ける。・ 喜多方市「蔵の町を守る会」の名称を調べる。(担当 : 大沢委員)

その他

- ・ 12 月の理事会にてスケジュールを発表したいので、案を作成する。(景観整備機構 W G)

(3) 応急仮設住宅計画コンペティションの実施について (最終応募数 : 9 0)

審査日程について

- ・ 現在、大月先生の日程を確認中。回答があり次第、各審査員に大月先生の日程を入れたものを送付し、調整を行う。

- ・ 3/25 に横浜市技能文化会館多目的ホールが取れているため、表彰式及び講演が実施できるので、大月先生へ打診することとした。(担当：平山委員長)

審査基準(案)及び審査方法(案)の作成

<審査基準(案)>

- ・ 作り易さ、材料、工法、居住性、耐久性、地域性、維持管理のし易さ、精神の安定性、関連法規の遵守等の意見が出された。
- ・ 審査基準(案)及び審査方法(案)について、タタキ台を復興支援・応急仮設住宅WGにて早急に作成し、審査員の方より意見を頂くこととする。
- ・ 大月先生へ挨拶をかねて訪問する。(担当：正副委員長)

費用清算等について

- ・ 調査、行政訪問等の費用を次回の委員会までに申告して頂くこととした。

その他

- ・ ホームページへ申込者数を掲載することとした。

(4) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて(10/20～10/21 横浜産貿ホール)

最終作品数の報告

- ・ 学生展示：パネル32点、模型6点
- ・ 仕事展：パネル16点、模型8点

作品名名札等のフォーマットについて

- ・ B6サイズ程度とし、丸ゴシックフォントで作品名と概要を記載する。

展示方法等について

- ・ パネルにテグスを通し、画鋏2ヶ所で高さを揃える。
- ・ 模型については、テーブルを利用する。

担当について

10/19(15:00～18:00): 平山、寺本、小島、大沢、三橋
10/20(7:00 集合) : 平山、寺本、花田、山口、三橋、小島、瀬戸
10/21(9:00 集合) : 平山、山口、瀬戸

10/21(14:00～15:00) 復興・まちづくりセミナーについて

- ・ 当日使用するパワーポイントの資料を配布。
- ・ 委員は全員参加をお願いした。

(5) 11/2 開催「まちづくり活動に関する取組み事例」勉強会の運営について(現在、申込2名)

司会：大沢委員、開会あいさつ：平山委員長、閉会あいさつ：花田副委員長
ワークショップ担当：小島委員

ワークショップの内容について

- ・当日の発表内容により決定することとした。

その他

- ・懇親会場を用意する。

(6) その他

(財)神奈川県建築安全協会主催イベントへの協力について

- ・概要を平山委員長より説明された。
- ・12/7 18:00～20:00 (安全協会会議室にて) 報告会等について

内容：事務所協会の取組み(応急仮設住宅コンペ、復興支援、被災地調査等)

発表者：平山委員長、資料作成(パワーポイント)4～5枚：寺本副委員長

- ・案内チラシを安全協会より頂き、会報に入れて送付することとした。

キャラバン素案について(寺本副委員長より説明)

< 目的 >

- ・景観整備機構についての理解を深め。活動促進を促すため各支部をまわり概要を周知する活動を行う。また、各支部のまちづくり活動に関する情報をヒアリングし、委員会でサポート出来る事柄を見出して委員会活動に反映していくと共に委員会と支部の連携が図れるように繋がりを構築していく。
- ・準備段階として、キャラバンで提供する情報や資料をまとめる。
説明資料の作成を花田副委員長が作成し、次回までにまとめて頂くこととした。

次回 平成24年11月20日(火) 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第19回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成24年11月20日(火)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 ○花田副委員長 (委員) ×今井・○山口・×大沢・○三橋・×瀬戸・○小島・○小澤		
1. あいさつ 平山委員長より			
2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・各種研修会案内等を配布。			
3. 議 題			
(1) 次年度事業計画及び予算案について			
・下記とした。			
<収入の部> 合計 100,000 円			
景観まちづくりに関する研修会1 会員 2,500 円×20 名 = 50,000 円 1 年 A			
景観まちづくりに関する研修会2 会員 2,500 円×20 名 = 50,000 円 1 年 A			
<支出の部> 合計 333,000 円			
・ 景観整備機構の運営			
景観まちづくりに関する研修会1 会場費 0 円、講師料 15,000 円、資料代等 15,000 円			
景観まちづくりに関する研修会2 会場費 0 円、講師料 15,000 円、資料代等 15,000 円			
情報収集 交通費 2,500 円×20 人 = 50,000 円			
組織案内冊子作成(自治体用) 作成費 100,000 円			
支部との連携 交通費 2,500 円×10 人 = 25,000 円、会場費 5,000 円×5 支部 = 25,000 円			
(キャラバン5支部) 資料代 5,000 円×5 支部 = 25,000 円			
・ 東日本大震災被災地調査関係 ← 寺本副委員長と相談して決定する。			
<会議費> 合計 192,500 円			
会議費 15 回 2,500 円×161 名 = 402,500 円			
(2) 景観整備機構になるための準備			
各自治体の条例整備等についての内容把握(情報収集)			
・ アンケート実施結果に基づき情報を収集する。			
12/13 理事会への提出資料について			
・ 埼玉会、大阪会に景観整備機構の規約があるかを調べる。			
・ 埼玉県の組織図を基に当会版を作成する。(寺本委員が作成した?)			
その他			
・ 景観用語についての説明資料が花田副委員長より提出され、説明した。			
・ アンケート等の配布報告が山口委員よりされた。			
(3) 応急仮設住宅計画コンペティションの実施について(最終エントリー数:90)			
審査日程について(一次審査:12/19、二次審査:1/21)			

- ・いずれも 14:00～17:00 で実施する。
横浜市建築局長については、12/17 に審査をする予定。
- ・数が多いので事前に内容のチェックを行うこととした。
日時：平成 24 年 12 月 6 日（木） 14:30～ 会場：神事協地下会議室
案内を委員へ送付することとした。

審査基準（案）の作成

- ・条件を満たしているかを見る。
 - ・コスト（230 万/戸） 9 坪
 - ・作り易さ → 施工方法の工夫
→ 材料の種類が少ない
 - ・使い易さ → 間取り、コミュニティケア（配置の工夫）
→ 断熱、遮熱、遮音、耐火、耐震 → 性能
 - ・メンテナンス
 - ・居住性 → 住んでみたくなる
 - ・解体のし易さ 恒久化の可能性
→ リサイクル（材、法律）
- 感性
アイデア

- ・寺本副委員長に案の作成をお願いした。

費用清算等について

- ・平山委員長：横浜市（県含む）との打合せ 4 日に修正。日当を 5 日へ修正。
- ・寺本副委員長：HP 作成費 3 万円、チラシ作成 2 万円を追加。
- ・花田副委員長：データ作成 1.5 万円を追加。
- ・三橋委員：小田原市との打合せを追加。
- ・山口委員：横浜市との打合せ、敷地撮影、測量図作成 3,500 円を追加。
- ・今井委員：横浜市との打合せを追加。
- ・作品集作成費（30 冊）を追加。
- ・審査料については、3 万円で提案する。
- ・講師謝金を 5 万円とした。

（４）2012 みらいふれあいフェスティバルの反省 → 時間が無いため削除

（５）県委託事業について 予算：昨年度と同じ（50 万円程度）

当会として実施したい項目を 2 行程度で良いので出して欲しいと県より要望があった。（11/19）
（参考に昨年度委託事業の報告書抜粋を配布した。）

- ・供給量の調査（材、プレカット、製材）
（アンケート調査、ヒアリング、まとめ）
- ・供給体制の検討

以上の 2 点を県住宅計画宛に送付する。

（６）その他

（財）神奈川県建築安全協会主催イベントへの協力について

- ・委員は参加をすることとした。また、説明資料を寺本副委員長が作成することとした。

次回 平成 24 年 12 月 17 日（月） 15:00～17:00 終了後、忘年会実施。

23～24年度 第20回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成24年12月17日(月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 ○花田副委員長 (委 員) ○今井・○山口・×大沢・○三橋・○瀬戸・○小島・○小澤		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 前回議事録の確認 委員長会議事録の報告(平山委員長より) 日事連 景観整備機構活動状況調査集計結果報告(平山委員長より) その他 ・日事連会議資料を参考配布した。 ・大月先生の記事(12/13 日本経済新聞)を配布した。			
3. 議 題 (1) 次年度事業計画及び予算案の修正について ・修正点は下記とした。			
<支出の部> 合計 370,000 円 ・景観整備機構の運営 ・組織案内冊子作成(自治体用) 作成費 100,000 円に (1,000 円×100 冊)を追記する。 ・支部との連携(キャラバン) 一式 50,000 円(資料、交通費等)へ修正。 ・行政との打合せ費 一式 30,000 円 を追加。 ・東日本大震災被災地復興支援 へ 変更。 ・被災県(3県)との情報交換会の実施(ネットワーク構築・各種調査) 交通費 20,000 円×4 名=80,000 円 へ修正。 ・協会会員および大学関係者等(宮城、岩手、福島など被災地の情報をお持ちの人の発掘)との情報交換会の実施 50,000 円を削除。 ・会議費 12 回分 2,500 円×11 名×12 回=330,000 円 へ修正。			
(2) 景観整備機構になるための準備(WGにて骨子策定) 全体スケジュール(理事会での組織構築まで) ・指定勉強会のスケジュール(講師、内容) ・支部キャラバンのスケジュール(担当、内容) ・条例整備状況等のアンケート実施報告(進捗と集計) → 11/26 神奈川県(都市整備課 池田氏)と横浜市(都市デザイン室)へ実施。18 区については、今後実施する。神奈川県は、普及促進のみなので書類は受理するといった感じであった。 11/30 横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町へ実施。 県西地区については、支部長も一緒に行って頂くように依頼している。実施日は、未定。 アンケートの回答状況：寒川町、伊勢原市、逗子市、三浦市 神奈川県は普及促進のみ(住宅整備課) 1/17 委員長会への提出資料について ・1/11 までに平山委員長と花田副委員長で資料をまとめることとした。 ・代理出席を副委員長のどちらかに依頼することとした。 ・提出書類：上記資料、組織図、チラシ、用語解説 とした。			
全国の活動事例調査			

- ・全国の指定機構（ヒアリング、視察、文献等）
- ・埼玉会、大阪会の取組みレポート

<WG報告>

指定勉強会について

- ・先行事例（業務につながるような内容）の研究がしたい
- ・スケジュール、人選

→ 候補として塩見寛氏（静岡建築士会）

支部キャラバンについて

- ・キャラバンの前に各支部長への周知を徹底すべき。支部長会にてPRを行なう。
- ・ブロック支部委員会でビジュアル的に説明したらどうか？

景観整備機構の申請について

- ・神奈川県に申請書を提出するスケジュールを確定させたい
→ 13/1/17 委員長会で承認後に決定。
- ・必要書類を確認したい（様式、名簿、組織図、定款、予算 etc.）
→ 県担当者が確認中とのこと
- ・各行政団体（各市町村）への提出については、状況を見極める必要がある（各支部との連携が不可欠）

その他

- ・セールスポイント（知識、スキル）が必要。
- ・神奈川内で具体的にまちづくりに関われる所を発掘する必要がある（ex.埼玉県の新宿町調査）
- ・神奈川でも特に横浜や川崎などはNPOの活動が活発であり、棲み分けや連携が重要。

（3）応急仮設住宅計画コンペティションについて（最終作品数：28）

審査について（一次審査：12/19、二次審査：1/21）

- ・5点程度を選出して頂く。
審査方法は、審査員にそれぞれ5票を持ち投票し、その5点の中で1～3点を付けて頂く。
また、一次審査通過者には、二次審査の案内を行う。通知者は、平山委員長とする。

1/21 二次審査（公開プレゼン）の方法（作品展示方法等）について

- ・プレゼンの持ち時間は、20分（説明10分、質疑応答10分）とする。
- ・プレゼン方法は、自由とする。
- ・配布資料は、A3版3枚まで可とする。
- ・パワーポイント等を使用する場合も説明10分に含める。
プロジェクターとスクリーンがあることを明記する。
- ・その他、模型、パースの持参は自由とする。
- ・スケジュールについては、開場13:30～ 審査14:00～17:00を予定。
設営等があるため、11:00に集合する。

以上の 内容を12/19に審査員に打診し、確認等を行うこととした。

- ・司会者：寺本副委員長、開会挨拶：芝副会長、閉会挨拶：平山委員長
受付及びプレゼン者対応：瀬戸委員、磯部、審査員対応：三橋委員、カメラ担当：大沢委員
- ・展示方法は、壁際に机を配置し、立て掛けることで対応する。

表彰、特別講演、作品展示について（3/22） 講演依頼（12/19 大月先生）

- ・講演のタタキ台を平山委員長が作成し、大月先生へ打診する。
時間：90分、定員：50名程度、講師料：5万円

（４）県委託事業への対応について（12/14 打合せ報告）（次回打合せ 12/25 15:00～）

< 委託業務の内容 >

- ・平成 23 年度調査の結果を踏まえて、本県において新たな応急仮設住宅を導入するに当たって、必要な事柄や課題等を整理することによって実現化に向けた検討を行う。

< 報告書の内容 >

新たな応急仮設住宅の導入に向けた必要な事柄や課題等の整理
新たな応急仮設住宅の供給実現化に向けた検討結果
その他必要な事項

- ・検討イメージのタタキ台作成を依頼された。
→ 寺本副委員長がタタキ台を作成することとした。
- ・今後の作業について
関連団体等（大工、県木連、プレカット、設備）のリストアップ、アンケート作成、アンケート回収
9 坪タイプを基本プランとする。

（５）その他

平成 25 年 担い手事業などへの取組み → 検討なし

平成 25 年度 助成申請（普及センター、安全協会） 例、木造仕口(金物)の研究等 → 検討なし

その他

- ・川崎は、川崎支部と社団法人の団体（会員は同じ）を持っており、市からの委託を社団法人が一括して受けている。景観整備機構は、どちらで取るのか？また、委託を受ける場合は、本会で受けるのか、支部で受けるのか？
→ 現段階では分からない。

次回 平成 25 年 1 月 15 日（火） 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第21回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成25年 1月15日(月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ×寺本副委員長 ○花田副委員長 (委 員) ×今井・○山口・×大沢・○三橋・○瀬戸・×小島・○小澤		
1.あいさつ 芝副会長より			
2.各種報告 前回議事録の確認 その他 ・各種研修会、見学会の案内を配布した。 ・建通新聞記事を配布。(応急仮設コンペの二次審査のお知らせ)			
3.議 題			
(1)景観整備機構になるための準備(WGにて骨子策定)			
1/17 委員長会への提出資料の確認			
・組織図の記載内容を修正する。 副会長を副代表(副会長)へ 修正。常務理事を削除。			
・千葉県の景観整備機構指定申請書について、添付書類の内、機構として行おうとする業務に関する計画書をWGにて作成することとした。			
全体スケジュール(理事会での組織構築まで)			
・指定勉強会のスケジュール(講師、内容)			
6月(第一希望:6/18)に塩見氏、9月に土屋氏を講師とする勉強会を実施予定。			
・支部キャラバンのスケジュール(担当、内容)			
3/26に支部長合同ブロック支部委員会が県西地区で開催されるので、その際に「景観整備機構等の説明」を行うキャラバンを次年度早々に実施したいので、せの説明時間を取って頂くようにブロック支部委員長へ依頼することとした。			
・条例整備状況等のアンケート実施報告(進捗と集計)			
スケジュールを確認する。			
全国の活動事例調査			
・全国の指定機構(ヒアリング、視察、文献等)			
ネット等を活用して調べることにした。(茨城会等)			
・埼玉会、大阪会の取組みレポート			
レポートのフォーマットのタタキ台を作成し、日事連の委員会時にそれぞれの方に小澤委員より確認して頂くことにした。			
(2)応急仮設住宅計画コンペティションについて			
一次審査の報告及び1/21二次審査の運営確認(7作品)			
・12/19に一次審査を実施し、7作品が二次審査へ進んだ。			
・二次審査の役割について最終確認を行い、下記事項を追加する。 プレゼン時間終了2分前の表示:瀬戸委員、プレゼン終了時間のベル:三橋委員 とした。			
・賞の記載が出来るものを作成する。(賞名称、賞金額、作品名)			
・交流会は、お茶とお菓子を用意する。			

- ・二次選出者へ最終確認（集合時間 13:00）のメールを送付することとした。
また、辞退する方については事前にお知らせ頂く旨の記載も行う。
- ・プレゼン順番を決めるくじを作成する。

表彰、特別講演、作品展示について（3/22）

- ・作品展示については、追加資料、模型等も展示可とした。
また、賞別の展示カードを作成することとした。
- ・特別講演について、講演内容を 1/21 に大月先生へ確認する。
（仮称）「応急仮設住宅の歴史とコミュニティーケアの必要性及び計画のポイント」
開催案内文の主旨文等は、平山委員長が修整することとした。
- ・案内が完成次第、下記の所に案内を送付する。
日経アーキテクチュア、新建築：寺本副委員長が担当。
日建学院、総合資格学院、賛助会、県木連、民間確認検査機関、大学

（3）県委託事業への対応について（12/25 打合せ報告）

県木連との打合せ内容について報告された。

- ・神奈川県内 400 万世帯の内 1/4 が被災したと想定すると 100 万戸の仮設住宅が必要になる。
（プレハブ 80 万戸、木造 20 万戸）
- ・全国の着工戸数 83 万戸。 神奈川県（H.22 年）の着工戸数は、木造住宅 36,000 戸 内 28,000 戸が在来軸組み。
- ・9 坪タイプを、大工 5,000 人で 2 ヶ月 最大 1 万戸程度。
- ・プレカットの団体はない。県内に 10 社（工場は 4~5 社）あるが、神奈川県内の仕事をメインに行っているのは、2 社である。（ポラテック、スカイ、ハイビック、マツモト、市川屋等）
- ・県木連の会員数は、現在 300 社である。会員が知っているプレカット業者、大工、工務店の情報は集まる。アンケートの実施に協力頂けることとなった。
アンケート内容について沖原事務局長に送付し、内容の確認をして頂くこととした。
- ・震災時には、木材の価格統一が必要。
- ・材を支給してもらって仕事をする方法しか出来ない。
- ・ナイス、相模原木材センター、連合組合市場が問屋的な大きな所が窓口になることが出来るか？
県が直接窓口で清算する方法が出来れば。ヒアリングも実施したい。

担当割について → 未決定

アンケート内容の作成について（簡単に回答できるもの）

- ・9 坪タイプを案として作成する。
- ・1/18 までにアンケート項目を提出する。（復興支援・応急仮設住宅（県の委託事業等）WG）

その他

- ・地域型住宅ブランド化のグループも供給の受け皿になるのでは？との意見もあった。
- ・1/19 10:00 ~ 神事協会議室にて復興支援・応急仮設住宅（県の委託事業等）WGを実施する。

（4）その他

平成 25 年 担い手事業などへの取組み → 未検討

3 月の委員会日程変更について

3 月 19 日を 3 月 12 日に変更することとした。

次回 平成 25 年 2 月 19 日（火） 15:00 ~ 17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第22回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成25年 2月19日(火)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 ×花田副委員長 (委員) ×今井・×山口・○大沢・×三橋・×瀬戸・○小島・○小澤		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 前回議事録の確認 ・9月の勉強会の講師が土屋氏となっているが、確認する。 その他 ・各種講習会案内等を配布した。			
3. 議 題 (1) 景観整備機構になるための準備(WGにて骨子策定)			
理事会承認等の報告			
<質問、意見等>			
・支部への告知、落とし込みをして下さい。 → 3/26 支部長合同ブロック支部委員会で説明し、キャラバンの実行に協力をお願いする。			
・各支部の構成員が必要(地域特性の考慮)			
・行政が求めるものに(樹木の管理等)対して、対応出来るのか?			
・支部任せになってしまうのはダメ。支部の状況もあるので…。			
・中身を議論、整理し、具体的な内容で次回の理事会へ諮ることとした。			
全体スケジュール(理事会での組織構築まで)			
・3/26 支部長合同ブロック支部委員会で説明について(担当:平山委員長) → 説明用の資料の作成を平山委員長と寺本副委員長で作成する。 出来れば、パワーポイントで説明したい。 時間は、15:00～15:20 会場は未定。			
・指定勉強会のスケジュール 6/18 講師:塩見先生への打診及び講師依頼 内容の検討、案内の作成 → 7月の方が良い。 塩見先生は、静岡県建築士会で景観整備機構設立に携わった方である。 芝副会長が、花田副委員長に話して頂きたい内容を聞くこととした。			
・支部キャラバンのスケジュール(担当、内容) → 3/26の説明後に決定する。			
・条例整備状況等のアンケート実施報告(進捗と集計) → 16市町村より回答があった。 → 小澤委員がまとめることとした。			
全国の活動事例調査			
・全国の指定機構(ヒアリング、視察、文献等) → 国交省ホームページでは、全国90法人が指定を受けている。(H.24.8.1時点) 平成17年に茨城会が指定を受けている。 小島委員が情報を収集し、調査することとした。			
・埼玉会、大阪会の取組みレポート → 寺本副委員長が作成することとした。			

(2) 応急仮設住宅計画コンペティションの表彰式等について

賞状の確認について

- 当協会を社団法人神奈川県建築士事務所協会 へ修正する。
おいての後に優れた発想とリアリティのある提案により を追記する。

以上を修正後、発注する。

表彰式の運営について

- ・ 集合 12:50
- ・ 司会：小澤委員、開会挨拶：平山委員長、閉会挨拶：芝副会長、受付：山口委員、小島委員
記録：大沢委員、三橋委員、講師対応及び表彰サポート：瀬戸委員
- ・ 第一部の講師：寺本副委員長
- ・ 第二部に受賞者挨拶を入れる。
- ・ 審査員へ再度案内を送付することとした。
- ・ 賞状を入れる筒及び賞金を入れる封筒を用意する。

作品集のまとめについて（担当者：大沢委員）

- ・ 表紙は、寺本副委員長が作成する。
- ・ はじめにの文章を平山委員長が作成する。
- ・ 構成としては、募集要項、写真（一次、二次の審査風景）、作品、新聞記事
- ・ 大沢委員へ関係ファイルを送付し、3月1日にタタキ台の提出をい願ひした。
- ・ A4 版縦使いとし、30部印刷する。あとは、データ（DVD等）で配布する。

(3) 県委託事業への対応について（2/5 ヒアリング報告）

ヒアリング実施団体等の報告を行った。

報告書のまとめ作業担当割について

< 目次（案） >

1. はじめに：調査の目的とこれまでの経緯 （担当：平山）
2. 調査の前提条件（木造軸組みの必要性） （担当：小澤）
 - ・ 被害想定、必要住戸数、供給予測、木造の予測
3. 新たな応急仮設住宅の導入に向けた必要な事柄や課題等の整理 （担当：平山、寺本）
 - ・ 課題項目の抽出（具体的に）
 - ・ 各団体の概要 （担当：三橋） 士会、JIA、電業協会、空調衛生工業会、建設業協会、全木協
 - ・ 団体ごとにヒアリング内容の整理 （担当：瀬戸）
議事録を参照し、大体で結構ですので、下記項目に振り分ける。
必要に応じて分類項目を増加させても可。

通常時の状況

- ・ 人、物、組織（ネットワーク）

応急仮設住宅供給への対応（可能性も含め）

- ・人、物、組織（ネットワーク）

課題の抽出

- ・問題点の整理
- ・各団体のやれること（可能性と限界）

アンケート集計 （担当：瀬戸） A4 版にて

4．新たな応急仮設住宅の供給実現に向けた検討結果

神奈川県における供給体制の提案（関連団体協議組織の提案等）（担当：平山、寺本）

- ・組織のイメージと役割
- ・連絡体制
- ・準備と訓練
- ・覚え書（案）の提示

木造軸組工法、9坪タイプを基本としたモデル案を設定。
（数量、コスト等を検討し、「神奈川型」としてまとめる）

- ・神奈川型の特色とメリット （担当：平山、寺本）
- ・コストの検討 （担当：瀬戸、三橋）
- ・建設のフローと実日数（案）（担当：瀬戸、三橋）
- ・配置上の留意点 （担当：平山、寺本）

} おおまかでよい
図面参照

5．その他必要な事項 （担当：平山）

- ・資金の運用と支払い方法、時期等についての要望
- ・必要性について
- ・調達方法とフロー
- ・課題の整理

6．今後の課題と検討方法 （担当：平山）

7．参考資料

- ・アンケート票
- ・議事録
- ・応急仮設住宅計画コンペの概要

- ・2月28日までに各担当者は、担当箇所の資料提出を行うこととした。
- ・アンケートについては、県木連へ再FAXを依頼する。

建設労連へのヒアリングについて

- ・2/26 13:00～15:00 で打診する。

（４）その他 → なし

次回 平成25年 3月 7日（木） 15:00～17:00 神事協地下会議室にて

23～24年度 第23回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成25年 3月 7日(木)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 ×花田副委員長 (委 員) ○今井・×山口・○大沢・×三橋・×瀬戸・○小島・○小澤		
1.あいさつ 芝副会長より			
2.各種報告 前回議事録の確認			
その他 ・各種講習会案内を配布。			
3.議 題			
(1)景観整備機構になるための準備(WGにて骨子策定)			
3/26 支部長合同ブロック支部委員会での説明について			
時間：平成25年 3月26日(火) 15:00～15:15			
会場：小田原市民会館5階 第5会議室(小田原市本町 1-5-12)			
用意するもの：景観・まちづくり特別委員会作成パンフ、景観法の条文、行政へのアンケート結果			
説明者：寺本副委員長			
全体スケジュール(理事会での組織構築まで)			
1)指定勉強会のスケジュール			
開催：7月(講師と調整)			
講師：塩見先生への打診及び講師依頼			
内容：景観整備機構の立上げと経緯			
案内作成：4月の委員会にて決定し、5/20までに案内を完成させる。			
2)支部キャラバンのスケジュール(担当、内容について)			
・キャラバンを実施する前に、景観整備機構として何に取り組むのか。が重要となため、4月の委員会にて検討し、6月の理事会にて審議を頂くこととした。			
・実施については、7月より予定する。			
3)条例整備状況等のアンケートの回答集計結果(担当：小澤)			
・現在まとめ作業中。次回委員会にて提出する。			
全国の活動事例調査			
1)全国の指定機構(ヒアリング、視察、文献等)			
・現在作業中。			
2)埼玉会、大阪会の取組みレポート作成(担当：寺本)			
・4月の委員会にて検討する。			

(2) 応急仮設住宅計画コンペティションについて

作品集のまとめについて (大沢委員より案の提出あり)

- ・ 大沢委員の案を基にまとめる。
- ・ フォントを統一する。
- ・ 表紙は、3/11 に完成予定。事業主体：(社)神奈川県建築士事務所協会と事業助成(財)建築技術教育普及センターを入れる。
- ・ はじめにを平山委員長が作成する。
- ・ 目次
応募要項に 1.横浜市 2.三浦市 3.小田原市の敷地情報等を入れる。
審査報告は、一次と二次で分ける。
新聞報道等は、資料としてまとめる。
- ・ 審査員は、応募要項に記載し、別項目としない。
- ・ 作品紹介の中に団体名等以外に代表者名及び共同応募者名を記載する。
- ・ 受賞作品以外は、一覧を 1 ページ付ける。(表としてまとめる)
- ・ 最後のページに作成した委員会名等を記載する。(昨年度の県報告書と同様)
- ・ 3/22 の表彰式にてDVDによる配布を予定。

(3) 県委託事業の報告書まとめ作業

- ・ 段階的に県へ報告書の内容を送付して確認を頂いている。(第2章、3章)
- ・ フォント、書式等の統一。
- ・ 他県の例に情報を入れるため、東京都の窓口を県に紹介頂くこととした。
- ・ 出典の明記
- ・ 提案している応急仮設住宅の立面図と断面図の作成を棕副会長へ依頼する。
- ・ 最後のページに作成した委員会名等を記載する。(昨年度の県報告書と同様)

< 平山委員長担当作業 >

- 1 . はじめに
- 3 - . ヒアリング結果により明らかになった主な点
- 3 - . アンケート結果
- 4 - . (1)及び(2)

< 寺本副委員長担当作業 >

- ・ 各種組織図 (ステップ1、ステップ2、契約と協力のイメージ)
- ・ 4 - . (6) 斜面地型 (平屋建) 段差型 (2 階建) の作図。

< 事務局磯部担当作業 >

- 3 - . 団体概要 → 三橋委員よりデータを送付頂く。表にまとめる。
- 4 - . 覚書き (案) の作成 2 種類
(協議会と県、設計団体協議会と県)
- 4 - . (5)工程表の作成
- ・ 3月9日に事務局へ集まり、まとめ作業を実施予定。

(4) その他

- ・ 今後の委員会開催日程について

4/15、5/20、6/17 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 24 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 4 月 1 5 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 ○花田副委員長 (委 員) ○今井・×山口・×大沢・○三橋・×瀬戸・○小島・○小澤		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認			
②応急仮設住宅計画コンペティションについて			
・ 現在作品集を作成中。納品され次第普及センターへ報告を行う。			
・ 作業費等の支払いについては、次回に行うことを報告した。			
③24 年度県委託事業について及び今年度の予定（予算同額）について			
・ 報告書については、会員のページへ掲載することとした。			
・ 今年度の委託については、内容をみて検討する。			
・ 作業費等の支払いについては、次回に行うことを報告した。			
④その他			
・ 4/22 業務支援ツール講習会の案内を配布し、参加をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 景観整備機構になるための準備（WGにて骨子策定）			
①3/26 支部長合同ブロック支部委員会での説明報告			
・ 本日配布したパワーポイントの資料にて説明を行った所、下記のような意見等が出された。			
・ 各エリアでの活動についての把握を行って欲しい。			
・ 支部が強制的にやらされると思っている方が多い。			
・ 何を要求しているのかが不明確である。			
・ 現在活動している支部（鎌倉、川崎）との棲み分けはどうするのか。			
・ 鎌倉支部の次期支部長が「鎌倉ひとまち」のメンバーであるので調整は出来ているのか。との話があった。また、委託が出た場合の棲み分けはどうするのか？市町村はどこに依頼するのか？			
・ 支部で対応できるものなのか？本部でしか出来ないのか？等が疑問としてある。			
＜反省点・考え方＞			
・ 委員会の中でコンセンサスが無い。			
・ 景観整備機構の業務内容は？全部行うのか？			
・ 先行している支部、団体、自治体へ押し売りすることはない。ただし、手伝いを求められた場合は手伝う。			
・ 支部への押し付けは行わない。当委員会と一緒にやる。協力し合う体制づくりが必要。			
・ 色々な所の実績（金額含む）を出して具体的に説明した方が良く。			
・ まち研三美会（三崎関係）というグループが活動しているが、なかなか人が集まらない。			
・ 組織があっても仕事はない。コアな方がいれば繋がっていく。また、組織がなかったら仕事は出来ない。			
・ 組織と仕事を育てるために必要。			
・ 景観整備機構で行う業務に全てチェックするのは、どのような仕事に来るかが不明であるため。間口を大きくしていた方が良くと思うからである。			
また、対応出来ない仕事であれば、その道のプロと連携して行えば良い。			

＜状況把握等＞

- ・川崎支部長より、景観整備機構への取組みを 25 年度は行わない方針だと話があった。支部の中で委員会を作るような話もあったのだが…。
- ・横浜支部では検討していない。
- ・湘南三浦支部では、景観関係の活動へアプローチする気持ちが強くなった。
- ・色々な形でまちづくりに関する活動をしている団体がある。そことどんな形で絡めるのか？また、手伝えるのか？

②条例整備状況等のアンケートの回答集計結果

- ・どの行政が回答しているかが分かりにくいため、修正する。
- ・景観整備機構を指定することが可能な市町村については、その情報を支部へ伝える。

③全体スケジュール（理事会での組織構築まで）

1) 指定勉強会のスケジュール

- ・担当リーダー：花田副委員長
- ・講師である塩見先生へ 7/23 か 7/24 で実施可能かを打診する。（芝副会長）
- ・内容については、「景観整備機構立ち上げまでの話」や「景観とは何か。」みたいなものはどうかとの意見が出された。

2) 支部キャラバンのスケジュール（担当、内容について）

- ・今後検討していく。

④全国の活動事例調査

1) 全国の指定機構（ヒアリング、視察、文献等）

- ・小島委員より全国の景観整備機構指定状況（2013.1.1 現在）の資料提供があった。併せて指定されている団体等の情報についても情報提供された。

2) 埼玉会、大阪会の取組みレポート作成（担当：寺本）

- ・現在作成中。

（2）その他

①(財)建築技術教育普及センターより平成 25 年度普及事業助成の募集開始案内があった。

- ・4/26 が締切りなので、思いつくものがあれば応募することとした。

②応急仮設コンペに係るサイトの運営について

- ・次回検討する。

③その他

- ・次回は会議終了後に懇親会を実施するので、必ず出席するようにお願いした。

23～24 年度 第 25 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり特別委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 5 月 2 0 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×芝京子 ○平山委員長 ○寺本副委員長 ○花田副委員長 (委 員) ○今井・○山口・○大沢・○三橋・×瀬戸・○小島・○小澤		
1. あいさつ 平山委員長より 2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②応急仮設住宅計画コンペティション作品集の配布 ・最優秀賞を取ったグループが事業化を検討している。(5/20 情報) 支部の中で進めたいので、本会に了承を取った。 ③24 年度新たな応急仮設住宅調査報告書の配布 ④その他 ・各種講習会案内等を配布し、参加協力をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 景観整備機構になるための準備 (WGにて骨子策定)			
①条例整備状況等のアンケートの回答集計			
・小澤委員より集計資料の提出があった。 ・6/13 委員長会へ結果を報告し、併せて支部長へも送付する。 アンケートの再修正 (担当：小澤委員 5/24 締切り) 提出物は、アンケート結果報告書と 7/24 勉強会の案内とした。 ・アンケートのお礼を含めた報告書を作成する。(担当：寺本副委員長 5/24 締切り) ・アンケートの報告先 (実施期間：6/10～6/20) 行政 → アンケートを依頼した方が行う。(担当割を配布のこと) 支部長 → 委員長名でメールにて送付。(CC：で委員にも送付する。) また、積極的な行政のある支部長へは、委員がフォローを行う。 会員 → ホームページに掲載すると共に会報に同封する。			
②7/24 勉強会について (案内の作成)			
・案内作成を花田副委員長が行うこととした。(5/23 締切り) また、案内が出来たら委員へ送付して確認等をお願いする。 ・行政、支部長、理事等に対し、積極的に参加して頂くようお願いする。 ・司会：花田副委員長、開会：芝副会長、閉会：委員長、ワークショップ：寺本副委員長 運営手伝い：委員全員			
③全体スケジュール (理事会での組織構築まで)			
・支部キャラバンのスケジュール (担当、内容について) → 行政が積極的な 7 支部に実施する。支部長へ役員会等の日程を聞き、説明時間 (30 分) を頂く。 実施は 7/24 以降とする。 茅ヶ崎寒川支部長へ連絡した。6/21 以降で支部会議を設定し連絡を頂けることとなった。 ・7 月の理事会にて了承をもらう予定。 ・機構立ち上げ (10 月) までのスケジュール表を作成する。(担当：寺本副委員長 5/30 締切り) ・機構の必要性の文書作成をする。(担当：花田副委員長 6/12 締切り)			
④全国の活動事例調査			
1) 全国の指定機構 (ヒアリング、視察、文献等)			
・25 年度中にヒアリングを実施する。(候補：鎌倉)			

- ・視察については、塩見先生に紹介して頂くこととした。
- ・文献等については、行政が提供している景観に関するものを収集することとした。
各委員へ情報収集の協力依頼をし、事務局に送付頂く。

2) 埼玉会、大阪会の取組みレポート作成（担当：寺本）

- ・現在作成中。次回提出予定。

(2) その他

①検討事項

- ・景観整備機構の業務（7項目）で、何を行うのか。
- ・応急仮設住宅コンペのサイトのとりまとめ。

次回 平成25年 6月17日（月） 15:00～17:00 神事協会議室にて